

令和7年度 田上町の社会教育

○令和7年度 社会教育事業計画

○令和6年度 社会教育事業実施報告



田上町教育委員会
田上町公民館

田上町民憲章

田上町は豊かな自然と歴史を有する町です。私たちは、先人の築いた大いなる遺産に感謝するとともに、限らない躍進を願い、この憲章を定めます。

一、自然を愛し

ゆたかなまちをつくりましょう

一、きまりを守り

住みよいまちをつくりましょう

一、スポーツに親しみ

健康あふれるまちをつくりましょう

一、たがいに学びあい

文化の香り高いまちをつくりましょう

一、創意をいかし

のびゆくまちをつくりましょう

<生涯学習推進の目標構造>

【第6次田上町総合計画のテーマ】

このまちに住むみんなの笑顔のために

【田上町生涯学習推進計画（第4次プラン）の基本目標】

集い学びで希望あふれるまち

学びをすすめ、町民一人ひとりの夢や希望を実現できる環境づくりを進めます。

町民一人ひとりが生涯を通じて学び続けることが生きがいの一つとなり、生涯よろこびをもって学び続け、心豊かに生きることができる地域社会の形成を目指します。そして、学習の成果が大きく広がる輪となり、絆となり、地域のつながりや課題解決に寄与し、よりよいまちづくりにつながっていくことを目指します。

<具体目標>

- ①町民一人ひとりの学びを支援する生涯学習
- ②学んだ成果を地域で生かせる生涯学習
- ③町民のつながりを支える生涯学習

<基本方針>

- ①ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援
- ②生涯学習推進体制の整備と促進
- ③生涯スポーツと健康づくりの推進
- ④芸術、文化活動の推進と文化財の保護・活用
- ⑤人と地域を支える知の拠点としての図書機能の充実

目 次

<令和7年度 社会教育事業計画>

1 現状と課題	p 1～2
2 生涯学習推進の目標	p 3
3 社会教育行政機構図	p 4
4 社会教育事業計画	p 5～6
(1) 会議・研修	p 7
(2) ゆうゆう教室	p 8
(3) 夏休み妙高青少年研修	p 9
(4) 子ども夏休み教室	p 10
(5) 家庭教育セミナー	p 11
(6) K I D S遊び場	p 12
(7) たがみこどもまつり	p 13
(8) 生涯学習ボランティア養成講座	p 14
(9) 定例おはなし会	p 14
(10) 特別おはなし会	p 15
(11) 幼少中連携	p 15
(12) セタかざりをつくろう！	p 16
(13) はいねの会昔話語りの会「あじさい語り」	p 16
(14) 夏休み読書ビンゴ	p 17
(15) 秋の読書週間「ブックツリーをつくろう！」	p 17
(16) 蔵書点検	p 18
(17) 絵本関連展示イベント	p 18
(18) 新春！本の福袋	p 19
(19) 地域学習センター5周年！春の読書スタンプラリー	p 19
(20) 地域学習センター5周年！特別読み聞かせの会	p 20
(21) 大人のためのゼミナール	p 21
(22) マネー講座	p 22
(23) 終活講座	p 22
(24) 健康寿命・体力増進のためのトレーニング教室	p 23
(25) ちょいトレ	p 23
(26) 町内スポーツ指導者研修会	p 24
(27) スポーツ推進委員主催事業（たがみモリモリ運動大学）	p 24
(28) 文化祭	p 25
(29) 二十歳のつどい	p 26
(30) ふるさと歴史講座	p 27
(31) 田上町史を読む会	p 27
(32) 歴史特別講座	p 28

(33) ストレッチ教室	p 29
(34) 交流会館ストリートピアノ	p 30
(35) 生涯学習行政出前講座	p 31～32
(36) その他の事業	p 33
5 文化財関係事業	p 34
6 地区公民館活動補助事業	p 35
7 社会体育事業	p 36～37

<令和6年度 社会教育事業実施報告>

1 社会教育事業

① 会議・研修	p 38
② ゆうゆう教室	p 39
③ 子ども夏休み教室	p 40
④ 夏休み妙高青少年研修	p 41
⑤ たがみこどもまつり	p 42
⑥ 家庭教育セミナー	p 43
⑦ KIDS 遊び場	p 44
⑧ 令和6年度ひなまつり	p 44
⑨ おはなし会	p 45
⑩ 特別おはなし会	p 46
⑪ 幼小中連携	p 47
⑫ 卯月のうららか春語り	p 48
⑬ ふくちゃんと絵本を楽しもう！	p 49
⑭ 七夕かざりをつくろう！	p 50
⑮ ほいねの会昔語りの会「あじさい語り」	p 51
⑯ 夏休み読書ビンゴ	p 52
⑰ 宿題おたすけ相談会	p 53
⑱ 秋の読書週間「ブックツリーをつくろう！」	p 54
⑲ 蔵書点検	p 55
⑳ 新春！本の福袋	p 56
㉑ 大型布絵本を楽しもう！	p 57
㉒ 学習センター4周年！雑誌付録プレゼントスタンプラリー	p 58
㉓ 大人のためのゼミナール	p 59
㉔ 終活講座	p 60
㉕ 田上町文化祭	p 61
㉖ 二十歳のつどい	p 62
㉗ ふるさと歴史講座	p 63
㉘ 田上町史を読む会	p 63
㉙ 源氏物語基礎知識	p 64

③① 生涯学習ボランティア養成講座	p 64
③② 令和6年度ストレッチ教室	p 65
③③ ちょいトレ	p 66
③④ 町内スポーツ指導者研修会	p 67
③⑤ 田上町トレーニング教室 I N新潟経営大学	p 68～69
③⑥ スポーツ推進委員主催事業（たがみモリモリ運動大学）	p 70
③⑦ 第49回田上町スキー教室	p 71
③⑧ 第65回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会	p 72
③⑨ その他の事業	p 73～74
2 文化財関係事業	p 75～78
3 地区公民館活動補助事業	p 79
4 社会体育事業	p 80～81

<資料>

1 令和7年度教育関係予算の概要	p 82
2 田上町文化協会役員名簿及び会員数	p 83～84
3 田上町生涯学習推進本部設置要綱	p 85～86
4 田上町生涯学習推進会議設置要綱	p 87～88
5 田上町生涯学習推進員設置要綱・名簿	p 89～91
6 田上町地区公民館事業費補助金交付要綱ほか	p 92～95
7 令和7年度田上町社会教育関係委員等名簿	p 96～97
8 令和7年度田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表	p 98～109

令和 7 年度社会教育事業

事業計画

1 現状と課題

令和3年度で生涯学習推進計画第4次プランを策定し、今後10年間で取り組むべき事項等についてまとめたが、策定にあたり第6次田上町総合計画町民アンケートの結果をもとに総括すると現状と課題が見えてくる。

現状と課題
ニーズの多様化・高度化に対応した生涯学習の機会の提供に向けて、誰もが学びやすい環境づくり、町民の主体的な学習活動を支援していくため田上町交流会館、学習センター等の適切な運営を行う必要があります。また、感染予防を図りながら、学ぶ機会が提供できる環境づくりを行う必要があります。
広域連携による施設の相互利用、文化協会との連携による芸術に触れる機会の提供、「道の駅たがみ」との連携によるイベントの開催等により、施設の利用促進を図る必要があります。
教育委員会で開催した講座・教室をきっかけに自主的にメンバーを募り学習活動を継続している団体がある一方で、参加者の固定化等の課題があり、幅広い町民の参加が求められています。特に、若い世代をターゲットにした講座を実施する必要があります。また、講座・教室を通して身につけた知識、技能を生かし、地域で生かす体制づくりが必要です。
近年、少子化により子どもが主体となる地域、スポーツ活動が衰退傾向にあります。地域においては、子どもと地域とのつながりが薄れていく可能性があるため、地域とのつながりを絶やさない取り組みが必要です。スポーツ少年団においても団員数の減少等の課題が生じています。地域活動、スポーツ活動を支える人材の育成に取り組む必要があります。
生涯100年時代を迎え、仲間、健康づくりや健康寿命の延伸が一層重要視されています。スポーツを通して、生涯を通じた運動習慣の獲得、体力づくり、健康づくりが必要です。関係機関と連携を図りながらスポーツ活動への参加を促進する必要があります。
誰もが気軽にスポーツできる機会を充実させるため、体育館等運動ができる施設の情報提供や施設の有効活用を図る必要があります。町には町民体育館を始めとした体育施設があります、しかし、いずれも建設から年数が経過しています。今後、町全体のスポーツ施設のあり方を検討する中で、特に町民体育館のあり方を早急に検討する必要があります。
人々の価値観が多様化する中、地域に根づいた芸術、文化に接することが求められています。田上町交流会館を拠点に、文化祭や展示会、コンサート等多彩な芸術、文化活動を行うことが必要です。加えて、人々の交流が生まれるように、芸術、文化活動を通して町内外の交流を促進し、情報の発信をする必要があります。
文化活動を行っている団体によっては高齢化や、会員の減少傾向が進んでいます。多くの町民が文化、芸術に触れ自主的な活動が行われるよう、文化団体をはじめとした活動の支援、指導者の育成を図る必要があります。

現状と課題

町内には、椿寿荘を始めとした貴重な文化財や行屋崎遺跡などから発掘された埋蔵文化財があります。また、地域には、古くから伝わる伝統行事、伝統芸能などがあります。これら貴重な財産を次世代に引き継ぐため、幼い頃から伝統文化に触れる機会や幅広い町民から知ってもらう機会を提供する必要があります。

2 生涯学習推進の目標

基本目標

集い学びで希望あふれるまち

具体目標	基本方針
1 町民一人ひとりの学びを支援する生涯学習	1 ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援
2 学んだ成果を地域で生かせる生涯学習	2 生涯学習推進体制の整備と促進
3 町民のつながりを支える生涯学習	3 生涯スポーツと健康づくりの推進
	4 芸術、文化活動の推進と文化財の保護・活用
	5 人と地域を支える知の拠点としての図書機能の充実

生涯各期の目標

①乳幼児期（0歳～5歳）

身体を丈夫にし、善悪の判断を養うとともに、基本的な生活習慣を養い、身辺自立の精神を身につけるよう努める。

②少年期（6歳～15歳）

学校教育と社会教育の連携を図り、自主性、創造性、社会性と豊かな情操を身につけるようにする。

③青年期（16歳～30歳）

社会の一員としての自覚と役割を認識し、青年相互の結びつきを深め、自己実現に努める。

④成人前期（31歳～50歳）

家庭、地域、職場の中核としての自覚を持ち、明るい家庭づくり及び地域づくりに努める。

⑤成人後期（51歳～64歳）

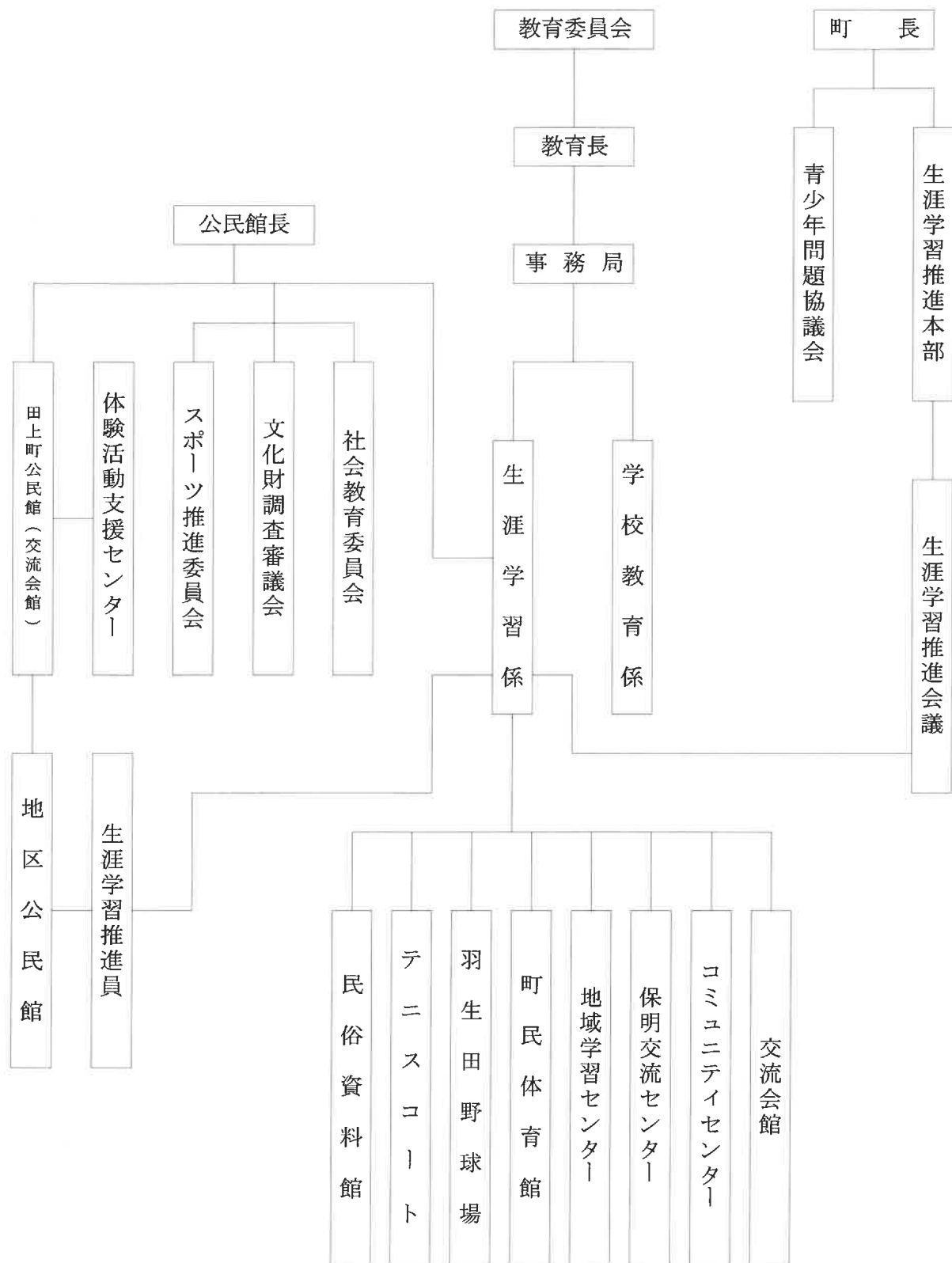
家庭、地域、職場のそれぞれでの指導性を発揮するとともに、自己の生涯設計の実現に努める。

⑥高齢期（65歳以上）

自ら進んで家庭や地域の人たちとの関わりを深め、生きがいを身につけるとともに、心身の健康管理に努める。

生涯各期の学習推進計画

3 社会教育行政機構図



4 社会教育事業計画

令和7年度田上町社会教育事業計画

<重点施策>

1 生涯学習推進体制の整備充実、地域活動の振興

- ・コロナ禍を背景とする生活様式の変化を踏まえ、生涯学習事業を実施していく。生涯学習地区推進員との連携、地域活動の促進、住民の連帯感醸成に寄与できるよう、体験活動支援センターによる相談対応及び情報提供、地区公民館活動助成を継続して実施する。

2 学習機会の拡充と活性化

- ・町民の多様な学習ニーズを把握し、既存事業の見直しや改善を図ることで、各年齢層に対応した学習機会の拡充を図る。
- ・田上町交流会館の効率の良い運用方法や設備の充実化を図る。交流会館の利用や交流会館の利用を通じた各種団体等との連携を深め、事業を展開していく。田上町地域学習センターについては、図書の充実を図り、住民の多様な活動を支援する拠点の1つとして役割を果たしていく。

3 青少年健全育成の推進

- ・「田上の12か年教育」の理念やめざす子ども像に基づき、青少年が生きがいを感じ、将来に希望の持てる社会を形成するため、潜在能力の開発に資する環境整備を進める。小中学校施設及び社会教育施設等を開放し、子どもたちの居場所づくりに寄与する。
- ・夏休み妙高青少年研修、ゆうゆう教室などを通じた様々な自然体験、創作体験教室を行う一方で、各方面と連携を密にし、家庭や地域の教育力回復を図ることで、青少年の非行防止と健全育成に取り組む。

4 スポーツの振興と体力、健康づくり

- ・町民の誰もが生涯にわたり健康で豊かな生活を送るよう、田上町スポーツ協会及び田上町スポーツ推進委員と連携を図りながら、各種大会や教室を運営する。
- ・個々のライフスタイルや体力に応じたスポーツ活動が気軽にできるよう、スポーツ推進委員等を活用し体を動かす習慣づくりに努める。
- ・利用者が安心して各施設を利用できるように維持管理を行い、体育施設の整備充実を図る。また、体育施設のあり方、特に町民体育館について、早急に検討する。

5 芸術文化の振興と文化財保護の推進

- ・芸術文化活動の活性化と底辺拡大を図るため田上町文化協会等と連携し、町民の文化意識の高揚に努めるとともに、創作活動発表の場や優れた作品等に接する機会を提供する。
- ・指定文化財や埋蔵文化財等の適切な管理、愛護、啓発に努める。

- ・行屋崎遺跡からの遺物（木製品・金属製品）の展示をはじめ、町HP等を活用し、周知啓発を図る。

6 指導体制の整備

- ・生涯にわたり町民が学習する環境づくりを推進するため、内部討議やオンラインを活用した各種研修会への参加や施設見学の機会を活用し、関係職員の資質向上に努め、今後さらに多様化、高度化する学習ニーズに対応できるよう指導体制を充実させる。
- ・各種資格や素質を有する方、ボランティア、リーダーの発掘と活用に努める。

(1) 会議・研修

事業名	内 容	回 数
社会教育委員会議 及び研修会	生涯学習推進に関する方策や事業、課題等について審議並びに調査研究を行う。また、資質向上及び情報収集等の目的で各種研修会に参加する。	年 3 回
文化財調査審議会	文化財の保護及び啓発、活用等について審議、調査研究を行う。	年 3 回
スポーツ推進委員 会議及び研修会	町民ニーズに対応したスポーツ事業の企画立案及び調査研究を行う。資質向上や情報収集等の目的で各種研修会に参加する。	年 6 回
青少年問題協議会	青少年の健全育成について方策を協議する。	7/9 (水) 田上町 交流会館
生涯学習地区推進 員研修会	生涯学習に関する情報提供と連携を図り、地域における活動の推進に資する。	6/29 (日) 田上町 交流会館

(2) ゆうゆう教室

○事業計画

ねらい（目的）	レクリエーション、自然体験、創作活動等を通して、「楽しむ」ことの中から、子どもたちの自主性、協調性、創造性及び豊かな情操を育む。
対 象	町内在住の小学校児童（１～６年生）
目 標	新潟経営大学や新潟薬科大学と連携し、大学の科目として取り上げてもらうことで、世代間交流を促すとともに、多様な体験活動の機会とする。（科目名＝経営学実地研究―地域青少年集団経営） 子どもたちの自主性を育むよう努力する。
開 催 日	毎月１回、概ね第３土曜日に開催（他団体の活動や講師の都合などにより変更します） 行事等によりお休みとなる月もあります

No.	期日（曜日）	主題（内容）	依頼講師	会 場
1	4月26日（土）	絵本ワールド ふくちゃん絵本ライブ	福島はるお さん	地域学習センター
2	5月5日（祝）	こども祭りへGO		交流会館
3	6月28日（土）	親子クッキング パッククッキングに挑戦	田上町食生活改善推進 員協議会	保健福祉センター
7・8月は、お休み				
5	9月20日（土）	ゆうゆうスポーツ	スポーツ推進委員	交流会館
10月は、お休み				
6	11月22日（土）	クリスマスキャンドル作り	交渉中	交流会館
7	12月20日（土）	ゆうゆうクリスマス クリスマス会	社会教育指導員	交流会館
8	1月24日（土）	親子けん玉教室	GATAKEN 長谷川 哲郎 さん	交流会館
2月は、お休み				
9	3月7日（土）	4・5・6年生対象 お菓子作り	田上町食生活改善推進 員協議会	保健福祉センター

(3) 夏休み妙高青少年研修

少年期、青年期事業

○事業計画

<ねらい>

自然体験や集団体験を通して生きる力を育むとともに、地域活動等でリーダーとして活動できる青少年の育成を図る。

<対 象>

町内在住の小4年生～中学生

計40名（小学生20名、中学生20名）

<目 標>

- ・妙高アドベンチャープログラム（MA）やグループワーク等を通し、社会性や協調性の大切さを認識し、豊かな人間関係をつくる力を養う。
- ・自ら考え、行動するトレーニングを通して、自立の心を養う。
- ・高校生、大学生等のスタッフを導入し、青少年層の自己実現力向上を図るとともに、地元地域づくりへの参画の心を養う。

・日 程 令和7年8月4日（月）～8月5日（火）1泊2日

・会 場 国立妙高青少年自然の家（妙高市大字関山 6323-2）

・参 加 費 中学生 7,000円
小学生 6,500円

(4) 子ども夏休み教室

少年期事業

○事業計画

<ねらい>

夏休み中に遊びや伝統文化、生活、自然の中での体験により、心身の健やかな成長をもたらす学習や、体験活動を提供する。

<対 象>

町内在住の小学生

<事業計画案>

期 日	主 題 (内容)・講師	会 場 等
7 月 28 日 (月)	夏休み教室① 染め物に挑戦！ 講師：小柳史子 小川恵子 様	交流会館
7 月 30 日 (水)	こどもお茶会 体験会 講師：窪田、茂木、羽賀さん	交流会館
8 月 7 日 (木)	夏休み教室② 自由研究&科学研究 講師：新潟薬科大学学生他	地域学習センター
8 月 17 日 (日)	羽生田川でニジマスの魚つかみ (定員 50 名) 共催：田上郷地域農地・水・ 環境保全組織の皆さん	羽生田川 (前日準備：草刈り・河清掃 危険個所の確認・ロープ張り テント設営)

(5) 家庭教育セミナー

○事業計画

<ねらい>

子どもの心理や心身の成長に伴う親の役割、関わり等について学ぶ機会を提供し、
家庭での教育力の向上を図るとともに家庭教育の重要性について認識を深める。
親同士の交流の場や仲間づくりにも役立てる。

<対 象>

未就学児とその保護者

実施時期	内 容	講 師	会 場	定 員
6 月 23 日 (月)	親子リトミック	カワイ音楽教室	交流会館	親子 15 組
9 月 26 日 (金)	親子で楽しむ絵本 絵本の楽しみ方	古川 今日子	地域学習センター	親子 20 組

(6) KIDS 遊び場 (多目的ホールで遊ぼう！)

<ねらい>

多目的ホールを開放し、冬季間や雨天でも小さな子供やその親に遊べる場所を提供する。

利用を通し幼児、児童及びその保護者から交流会館を利用するきっかけを提供する。

<対 象>

小学校低学年までの子どもとその親

<開放日>

4月	1日、8日、15日	12:00～17:00
5月	13日、20日、27日	
6月	3日、10日、17日	
7月	1日、8日、22日	
8月	※行事等を確認しながら日程を調整	
9月	※冬場は、月4日実施を計画	
10月	※金曜日、1日開催予定	
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

<周 知>

生涯学習情報、きずな、町HPに記載。

交流会館にポスター掲示等を行います。

<その他>

参加するにあたり、発熱やせきの症状がある場合は、参加を控えてもらう。

利用の際、保護者の見守りが必要。

(7) たがみこどもまつり

幼児期～少年期

<ねらい>

次代を担う子どもたちの心身共に健やかな成長を願い、子どもに関わる関わる機関等が、よりよい遊びと創造の文化を提供することにより、親子や友達同士など誰もが参加でき、ともに楽しめるイベントを開催し、家庭や地域社会全体で子どもの健全な育成を推進する。

<対 象>

小学生児童とその保護者

<内 容>

①おもちゃ病院②わくわくものづくり③キッズダンス④新潟薬科大による実験・ものづくりコーナー・看護体験⑤子育て支援センター、子育て地域包括支援センターによる相談ブース⑥似顔絵コーナー⑦遊具コーナーの開設

<日 時>

令和7年5月5日（月）こどもの日

(8) 生涯学習ボランティア養成講座

少年期～高齢期事業

<ねらい>

地区や各種団体活動の際に役立つアイスブレイクや講座を実際に体験する等して、各方面で自立して活動できるボランティアリーダーを育成する。

<内 容>

地区活動で使える終活講座

<開催日時>

6月29日(日) 午前10時10分～11時30分

<対 象>

高校生以上の男女

<講師>

たがみ行政手続事務所 泉 香織 様

(9) 定例おはなし会

地域学習センター事業

<ねらい>

絵本を通しての親子のふれあいの場を提供する。また、さまざまなジャンルの絵本に出会うきっかけを作り、図書の利用につなげる。

<日 時>

毎月1回 第1土曜日 10時30分から30分程度

<内 容>

絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び

<読み手>

地域学習センター職員、たがみサニープレイス

<会 場>

地域学習センター 研修ルーム

(10) 特別おはなし会

地域学習センター事業

<ねらい>

田上町で活動をしている読み聞かせボランティア3団体と地域学習センターが協力して、田上町の子どもたちに絵本の楽しさを味わってもらう機会を設ける。また、地域学習センターに、より多くの子どもたちに足を運んでもらうきっかけを作りたい。

<日 時>

① こわ〜いおはなし会：8月9日（土）

② クリスマスおはなし会：12月（日程調整中）

<内 容>

絵本・紙芝居の読み聞かせ

<読み手>

田上小読み聞かせボランティア・羽生田小読み聞かせボランティア・たがみサニープレイス

<会 場>

地域学習センター 研修ルーム

(11) 幼小中連携

地域学習センター事業

<ねらい>

園児・小中学生のみなさんに地域学習センターを身近な存在として認識してもらい、いろいろな形で利用してほしい。そのために、まずは保育・授業時間中に見学や体験等での利用を促す。

<内 容>

幼稚園と各学校に案内を配布し、見学・体験等を随時受け付ける。

(12) 七夕かざりをつくってかざろう！

地域学習センター事業

<ねらい>

繰り返し足を運びたくなるような季節感のある催し、展示を行い、幅広い世代に参加してもらう。

<日 時>

令和7年6月～7月

<内 容>

折り紙を使って七夕かざりや短冊を作り、図書コーナーに展示する。

<会 場>

地域学習センター 図書コーナー

(13) はいねの会 昔話語りの会「あじさい語り」

地域学習センター事業

<ねらい>

地元の語り部サークルの方を講師に迎え、地域にまつわる内容のものを含む昔話の語りを楽しんでもほしい。新規来館者の開拓にもつなげたい。

<日 時>

令和7年7月5日（土）午前10時～11時30分

<内 容>

昔話の語り、朗読劇

<講 師>

語り部サークル「はいねの会」

<会 場>

地域学習センター 研修ルーム

(14) 夏休み読書ビンゴ

地域学習センター事業

<ねらい>

夏休み期間に読書の機会を増やすことを目的に実施する。ビンゴの形式を取ることにより普段は手に取ることのない分類の本を読んでもらい、読書に興味を持つことを促す。また、様々な分類の図書を探すことにより図書コーナーの書架の配置や利用方法を知ってもらう。

<期 間>

令和7年7月～8月（町内小中学校の夏季休暇期間中）

<内 容>

日本十進分類法の分類（背ラベル）の数字（背ラベルに記載の三桁の数字の一行目の数字）を9マスに配置したビンゴ台紙を使用。貸出1回につき、1マスに押印する。縦、横、斜めのいずれか一行がそろったら景品を渡す。

学習センターの本の配置を知ってもらい、図書の活用につなげる目的があるため、台紙配布の際には、台紙裏に記載した日本十進分類法についての内容を読んでもらうよう参加者に促す。

<会 場>

地域学習センター 図書コーナー

(15) 秋の読書週間「ブックツリーをつくろう！」

地域学習センター事業

<ねらい>

読書週間を含む3か月を利用して、ブックツリーを作成する。利用者から募った「好きな本」や「思い出の本」を展示することで、利用者同士の情報共有を促し、貸出の増加につなげる。また、地域学習センター職員が利用者の需要を知ることで、今後の選書にも役立てたい。

<日 時>

読書週間（令和7年10月27日（月）～11月9日（日））を含む3か月

<内 容>

利用者から「好きな本」「思い出の本」を募り、ブックツリーを作成する。

<会 場>

地域学習センター 図書コーナー

(16) 蔵書点検

地域学習センター事業

<ねらい>

地域学習センターで所蔵する資料について、紛失しているものがないか、所定の場所に収められているかを点検する。

<日 時>

令和7年10月3日(金)～10月10日(金)

<内 容>

- ・蔵書点検用の機器を使って、1冊ずつバーコードを読み込む。
- ・読み込んだデータをまとめ、データと合わない資料は再度確認を行う。
- ・書架の移動・整理を行う。
- ・開館中にはできない箇所の清掃を行う。

(17) 絵本関連イベント

地域学習センター事業

<ねらい>

まだ学習センターに来たことがない人、普段は本を借りない人にも本に興味を持ってもらえるようなイベントを行い、図書コーナー利用者の増加につなげたい。

<日 時>

令和7年11月頃

<内 容>

未定

<講 師>

未定

<会 場>

地域学習センター 研修ルーム

(18) 新春！本の福袋

地域学習センター事業

<ねらい>

出足の鈍る年明け、季節感あるイベントを開催することで利用者の来館につなげたい。また、中身がわからない福袋を通して、自分では選ばない本を手取るきっかけとしたい。

<日 時>

令和8年1月4日（日）～ ※なくなり次第終了

<内 容>

- ・職員が各福袋のテーマを決め、セットにする3冊を選ぶ。
- ・図書コーナー内にコーナーを設置して貸出を行う。

<会 場>

地域学習センター 図書コーナー

(19) 地域学習センター5周年！春の読書スタンプラリー

地域学習センター事業

<ねらい>

地域学習センターは令和8年3月に5周年を迎える。それを記念し、利用者への感謝の気持ちを込め雑誌付録を進呈する。また、付録がつく雑誌の発行回数が減少していることから用意できる付録の数が少ないため、「達成者全員プレゼント」を設けスタンプラリー達成者に景品を配付する。

<日 時>

令和8年3月9日（月）～ ※雑誌付録の配付はなくなり次第終了

<内 容>

1回本を借りるごとにスタンプ1つを押印し、所定の個数がたまったら景品を配付する。

<会 場>

地域学習センター 図書コーナー

(20) 地域学習センター5周年！特別読み聞かせの会

<ねらい>

地域学習センターは令和8年3月に5周年を迎える。それを記念し、BSN アナウンサーを招き、読み聞かせを行う。

<日 時>

令和8年3月5日（木）午前10時～

<内 容>

・BSN アナウンサーによる読み聞かせ等

<会 場>

地域学習センター 研修ルーム

(2 1) 大人のためのゼミナール

<ねらい>

主に成人男女向けの各種教室（講座）を開催し、青年、壮年齢の生涯学習へのきっかけ作りとする。また、生涯学習指導者発掘の場とする。

<対 象>

成人男女

<事業計画>

分 類	実施時期	内 容	講 師	定 員
趣 味	令和 7 年 7 月 29 日 (火)	来年のひな祭りを目指して 和布で作るマカロン 共同作品を挑戦しよう	水野 明子 様	2 0 名
	令和 7 年 8 月 2 日 (土)	田上甚句講習会	田上甚句太鼓保存会	定員なし
	令和 7 年 9 月 29 日 (月)	インディゴ染めでスカ ーフに	小柳 史子 様 小川 恵子 様	各 2 0 名
	日程調整中	季節の折り紙教室 (2回)	燕市児童研修館 館長 神保一江 様	各 1 5 名
	1 2 月中旬 (予定)	お正月 ミニアレンジ	田上町 花舞 豊田 様	検討中
	2 月開催予定	ミモザのスワッグ作り	田上町 花舞 豊田 様	2 0 名
スローフード	9 月開催予定	食推さんのパッキング パート 2 時短・災害時に役立つ！	田上町食生活改善推進員 町・栄養士	2 0 名
	1 2 月開催予定	ちょっとした 1 品 冬のおつまみ	検討中	2 0 名

※教室を開催するために必要な最低参加者に満たない場合は、中止。

(22) マネー講座

成人期～高齢期事業

<ねらい>

生活上で必要不可欠な「お金」に関する正しい知識と適切な判断力の習得する機会を提供し、金融リテラシーの向上を図る。

<対 象>

町内在住者等

<内 容>

- ①お金のトラブルについて（多重債務、ヤミ金、自己破産等について）
- ②将来にむけた知っておきたいお金の話（教育資金、住宅資金、老後資金）

<講 師>

- ①金融リテラシーコンソーシアム講師
- ②J-FREC 講師

<実施予定時期>

- ①11月23日（日）午後2時～3時30分
- ② 3月22日（日）午後2時～3時30分

(23) 終活講座

成人期～高齢期事業

<ねらい>

人間誰もがいつかは訪れる人生の最期に向けて、今後の過ごし方や備えについて考えてもらうきっかけとする。講座を通して、これまでの人生を見つめ、自分の置かれている状況を客観的に把握してもらい、充実した余生を過ごすことができるきっかけづくりとする。

<対 象>

町内在住者

<内 容>

- ①終活全般的な知識（終活準備等終活全般について）
- ②終活と相続について（相続税や相続登記等について）

<講 師>

たがみ行政手続事務所 所長 善養寺貴洋 様他

<実施予定時期>

- ①12月 7日（日）午前10時～11時
- ②12月21日（日）午前10時～11時

(24) 健康寿命・体力増進のためのトレーニング教室

成人期～高齢期事業

<ねらい>

町内にあるウエイトリフティングジムで、町民の運動習慣定着のきっかけと健康増進の一助となることを目指す。併せて自宅等で出来る運動についても学ぶ。

<対 象>

田上町在住の町民（年齢は18歳以上64歳未満、性別は問わない）

<事業計画>

- ・開催日 調整中
- ・会 場 小嶋道場
- ・時 間 午後7時30分～午後8時30分（予定）
- ・講 師 小嶋栄二他

(25) ちょいトレ

青年期、成人前・後期事業

<ねらい>

生活習慣病予防のため「食事」や「運動」について、適切な指導を受ける場を町民に提供し、町民の健康増進の一助になることを目指す。

<対 象>

田上町在住の町民。

（年齢不問だが、年齢65歳未満で主治医から運動を止められていない方を対象とする）

<事業計画>

- ・開催日 ①11月5日（水） ②11月12日（水） ③11月19日（水）
④11月26日（水）
全4回コース
- ・会 場 交流会館多目的ホール
- ・時 間 午後7時30分～8時40分
- ・講 師 新潟経営大学 講師
田上町スポーツ協会指導者等
交流会館利用団体指導者

※ 保健福祉課との共催事業（栄養士又は、保健師参加）

栄養士・保健師交代でワポ・イントロ・アドバイスあり

(26) 町内スポーツ指導者研修会

少年期～高齢期事業

<ねらい>

町内のスポーツ指導者、関係者を対象に競技指導力の向上のため、専門的でより高度な技能の習得を目指す。

<対 象>

田上町内のスポーツ指導者、関係者

<事業計画>

- ・開催日 10月11日(土)
- ・会 場 田上町交流会館
- ・時 間 午後7時00分～午後8時30分
- ・講 師 新潟医療福祉大学 講師
- ・内 容 「怒りで失敗しないアンガーマネジメント」(仮称)

(27) スポーツ推進委員主催事業(たがみモリモリ運動大学)

少年期～高齢期事業

<ねらい>

町民に様々な「運動」の機会を提供し、体を動かすことの楽しさや意義を感じてもらう。また、田上町スポーツ推進委員の活動を広くPRし、認知度アップを図る。

<対 象>

- ・田上町在住者(小学生以下は、保護者同伴)

<事業計画>

期 日	内 容	会 場	備 考
6/22(日)	楽しくカラダを動かそう！ (町内の年少～小学生対象)	交流会館	指導：スポーツ推進委員
9/20(土)	ふれあい運動会 (小学生対象)	交流会館	指導：スポーツ推進委員
3/15(日)	ニュースポーツに挑戦 (全年齢対象)	交流会館	指導：スポーツ推進委員

(28) 文 化 祭

少年期～高齢期事業

<ねらい>

美術及び芸能を愛好する町民の創作を発表する場であると同時に、日常生活の中で芸術文化に親しむ心を養う。

<対 象>

団体・個人を問わず町内、近隣市町村、田上町文化協会加盟会員

<目 標>

- ・感染症については拡大防止に努めながら実施する。
- ・文化協会に出品数の増加と作業の協力を依頼する。
- ・展示の部と芸能の部の実施時期をずらし、田上町交流会館で開催する。
- ・より良い設営、運営方法を模索しながら実施する。

<事業計画>

- ・展示の部は、10月10日(金)～14日(火)の5日間、芸能の部は、11月16日(日)の1日間で実施し会場はいずれも田上町交流会館 多目的ホールなど
- ・出展、出演部門については、日本画、洋画、版画、書道、水墨画、写真、彫塑、陶芸、茶道、生け花、美術工芸、盆栽、手芸、俳句、川柳、琴、尺八、コーラス、踊り、民謡、詩吟、カラオケ、公民館趣味の教室、教養講座など
- ・部門別要領
 - 1 展示の部【10月10日(金)～14日(火)】
 - ①出品は原則として1人2点以内とする。
 - ②出品料は無料とする。
 - ③作品の裏面に題名等を記入した出品票を確実に貼り付ける。
 - ④作品の大きさは自由。ただし、特に大きい作品は事前に連絡すること。
 - ⑤作品の取扱いには最新の注意を払うが、不慮の事故等については責任を負わない。
 - ⑥書道は一般の方が読めるよう簡単な釈文を添付すること。
 - 2 芸能の部【11月16日(日)】
 - ①出演は原則として個人又は、団体1ステージとする。
 - ②1団体の出演時間は原則として概ね15分以内とする。

(29) 二十歳のつどい

少年期～高齢期事業

<ねらい>

新成人を祝うと同時に、大人としての自覚を高めてもらう。

<対 象>

【平成17年4月2日～平成18年4月1日に生まれた方】

上記のどちらかの前提条件を満たした方で、以下のいずれかに該当する方。

- ①町内に住所を有する方。
- ②町内に住所を有していないが、田上中学校を卒業した方。
- ③町内に住所を有していないが、町内の小学校を卒業し、両親等が町内に住所を有している方。

<目 標>

対象となる新成人で実行委員会を組織し、自主性と創意工夫を生かした成人式を開催する。

<事業計画>

【令和7年度田上町「二十歳のつどい」】

- ・日 時 令和8年3月20日（金） 午後2時～3時30分
- ・会 場 田上町交流会館
- ・内 容 ①式典 ②アトラクション ③記念公演 ④写真撮影

(30) ふるさと歴史講座

少年～高齢期事業

<ねらい>

田上町、その他の歴史と文化について学習し、郷土意識を高める。

<対 象>

一般（町民及び他市町村の方も受講可）

※令和5年度末でいきいき県民カレッジが終了したが、今まで通り県民誰でも受講可能とする。

<目 標>

講座内容を検討し、質の良い講座を実施する。

<事業内容>

No.	実施日	内 容	講 師	会 場
1	6/14（土）	三国街道と北越鉄道	中山 之隆	田上町交流会館
2	2/28（土）	明治天皇田上を通過！	中山 之隆	田上町交流会館

(31) 田上町史を読む会

少年～高齢期事業

<ねらい>

田上町の歴史に対する興味を喚起し、田上町の歴史知識等を継承する人材育成、確保につなげる。

<対 象>

一般（町民及び他市町村の方も受講可）

<事業予定内容>

No.	実施日	内 容	講 師	会 場
1	7/12（土）	「校歌」と「金次郎像」 ～田上村小学校物語～	中山之隆	地域学習センター
2	10/11（土）	「十代 田巻三郎兵衛一代記」 ～大正時代の大地主～	〃	〃
3	1/10（土）	「保明新田庄屋」 高橋健三	〃	〃
4	3/7（土）	「山むらさきに 水清き…」 ～田上中学校創立記～	〃	〃

(32) 歴史特別講座

少年期～高齢期事業

<ねらい>

昨年度、田上町と佐渡市において観光連携協定が結ばれた。田上町民の方に佐渡市の暮らしや歴史について知る機会を通し、佐渡市について理解を深め、交流のきっかけとする。

<対 象>

田上町民等

<事業計画>

- ・内 容 「佐渡に流された人々」
- ・開催日 8月3日（日）
- ・会 場 田上町交流会館
- ・時 間 午後2時00分～午後3時30分
- ・講 師 新潟県立歴史博物館 学芸課長 浅井勝利 様

(33) ストレッチ教室

○事業計画

<ねらい>

家庭でも気軽にできる体操を通して日常生活に運動を取り入れ、健康増進、体力向上を図る。

<対 象>

成人男女

<目 標> .

手軽にできるストレッチ運動をマスターし、自分自身の健康管理ができるようにする。

<事業計画>

- ・開催日 毎月第1・第3月曜日（月2回）※行事により変更あり。
- ・会 場 田上町交流会館・1F 多目的ホール
- ・開催時間 午前10時～（約40分程度の軽運動）
- ・運動指導 田上町社会教育指導員 佐藤 みどり

No.	月	①	②	備 考	会 場
1	4月	7日	21日		田上町交流会館
2	5月	12日	26日	※ 第2・第3	
3	6月	2日	16日		
4	7月	7日	14日		
5	8月	×	25日	※ 第4のみ	
6	9月	1日	8日	※ 第1・第2	
7	10月	6日	20日		
8	11月	10日	17日	※ 第2・第3	
9	12月	1日	15日		
10	1月	5日	19日		
11	2月	2日	9日		
12	3月	9日	16日		

(34) 交流会館ストリートピアノ

○事業計画

<ねらい>

長年にわたり町民の渉外活動によりそってきたピアノを町民ギャラリーに設置し、町内外誰でも自由にピアノに触れる機会を提供し、ピアノの響きを体感してもらう。

<開放日>

- ① 4月26日(土)～5月6日(火)
- ② 6月7日(土)～6月22日(日)
- ③ 8月8日(金)～8月17日(日)
- ④ 9月24日(月)～10月5日(日)
- ⑤ 11月5日(水)～11月13日(木)

<会場>

町民ギャラリー

<開放時間>

午前9時～午後5時まで

<周知>

- ・きずな、生涯学習情報、町HPに掲載及び交流会館等にポスターの掲示

<その他>

交流会館、町主催事業が開催や悪天候の場合、変更また中止の場合があります。

(35) 生涯学習行政出前講座

少年・青年・成人前・後・高齢期事業

<ねらい>

町が重点的に取り組んでいる施策や暮らしに身近なテーマなどを用意し、職員が出向き直接町民に説明、意見交換することにより、町民が理解を深めるとともに生涯学習意識の啓発と行政の活性化を図る。

<対 象>

10名以上の団体及びグループ

<会 場>

申請者の指定した場所

<留意事項>

- ・申込みは、開催希望日の3週間前までに教育委員会へ申請書を提出する。
- ・開催は午前9時から午後9時までの間とし、1講座90分以内とする。
- ・派遣職員は担当課（局）の係長以上の職員とし、場合により課長等が出席する。

<テーマ一覧>

課 名	テーマ	内 容
総務課	① 町の防災体制	災害時の避難場所について 他
	② 町の交通安全	年間を通じた町の交通安全の取り組み
	③ 町の防犯活動	年間を通じた町の防犯活動の取り組み、町における犯罪の特徴及び犯罪を防ぐ方法について
	④ 町の家計簿	町の今年度予算、重点事業、財政状況について
	⑤ 総合計画	まちづくりの最上位計画の内容、その進ちょく状況について
	⑥ 交流のまちづくり	各事業の概要、効果と連携について
	⑦ 統計調査	各種統計の概要とその活用について
	⑧ 広報	町の広報の作り方を通した地域の広報紙作成について
産業振興課	① 商工業の支援施策	町の商工業の現状と町の支援施策について
	② 公共交通	町の公共交通について
	③ 町の観光	町の観光情報や町の観光に係る予算について
	④ 農林業	農林業の現状と農林業振興施策について

課 名	テーマ	内 容
地域整備課	① 町道、河川の保全管理	町道の維持管理、除雪、河川の管理状況等について
	② 町の都市計画	町の土地利用や都市計画の状況について
	③ 町の水（水道）	水道のしくみ、料金等について
	④ 町の下水道	下水道のしくみ、今後の整備計画、料金の算定方法、下水道財政のしくみや経営状況について
町民課	① 消費者講座	悪徳商法対策について
	② ごみ減量化、リサイクル	一般家庭ごみの減らし方、リサイクルについて
	③ 町税講座	各税目の税額計算方法、申告や課税、納期限、減免及び徴収について
保健福祉課	① 高齢者の福祉制度	介護保険等高齢者対象の福祉サービスについて
	② 障がい者の福祉制度	障がい者を対象にした福祉サービスについて
	③ 生活習慣病の予防	予防のためのノウハウについて
	④ 認知症の予防	認知症とは。認知症の予防について。認知症の対処方法について。
教育委員会	① 青少年の健全育成	町の青少年健全育成対策とその取組みについて
	② 学校教育	町の現状について
	③ 社会教育、生涯学習	町の社会教育、生涯学習事業について
	④ 文化行政	公民館で行っている各種講座や教室、文化財等について
議会事務局	① 議会のしくみ	傍聴や請願の方法、定例会や臨時会など議会のしくみについて
	② 議員のしごと	議員の果たす役割などについて

(36) その他の事業

事業名	内 容	実施日・会場
早朝ハイキング（少年期～高齢期事業）	朝の清々しい空気を吸いながら護摩堂山を登り、頂上でラジオ体操を行うなど交流を深める。納会では皆勤賞、精勤賞を表彰する。	4月～10月の第3日曜日（7回） 11/1（土）納会 田上町交流会館
児童生徒書初め展（少年期事業）	町内小中学生の書初め作品を審査し、優秀作品を表彰する。小中学校や役場ロビー、田上町交流会館に展示し鑑賞の機会を設ける。	1月に各賞を決定する。
青少年健全育成（乳幼児期～高齢期事業）	明るい家庭づくり、青少年の健全育成を推進するための啓発用チラシの配布	年2回
文化協会への支援（少年期～高齢期事業）	文化協会の活動を支援するとともに連携を図り、町の芸術文化活動を推進する。	年 間
囲碁将棋大会（少年期～高齢期事業）	囲碁及び将棋を通して参加者同士の交流、親睦を深める。	令和8年1月18日（日）予定 田上町交流会館
図書の貸し出し	地域学習センターで、図書の貸し出しを行う。	年 間
視聴覚教材の整備と貸し出し（乳幼児期～高齢期事業）	備品の整備と貸し出し	年 間
定期刊行「生涯学習情報（公民館だより）」	事業案内、新刊図書の紹介ほか	毎月第4金曜日に全戸配布
交流会館コンサート	交流会館多目的ホールのピアノ等のコンサートを開催する	年間4回程度
人権講演会	部落問題を始めとした様々な人権侵害を知る機会提供し、差別や偏見がない地域づくりを目指す。	年間1回程度
たがみひなまつり㊤	交流会館、道の駅「たがみ」、「椿寿荘」に手作りの吊るし雛等を飾り、町巡りの機会やワークショップを通じた交流によるきざわいを生み出す。	2/7（土）～3/20（金） 予定
町民ギャラリー	町内外の人との交流によるにぎわいの創出や発表の場を提供を目的として、個人や団体による作品等を展示	通 年

5 文化財関係事業

<指定文化財、名木所有者への管理助成>

※指定文化財及び町名木保護条例に基づき指定されている名木の管理や保護を図るため、関係者に対し助成金を交付する。

◆田上町の文化財一覧

指定	種 別	名 称	指定年月日	所在地	所有者等
国	天然記念物	田上村ツナギガヤ自生地（護摩堂山）	大 11. 10. 12	田 上	管理者：田上町
	天然記念物	了玄庵のツナギガヤ	大 11. 10. 12	田 上	了玄寺
県	彫 刻	（木造）薬師如来坐像	昭 43. 3. 29	田 上	川之下地区
	考古資料	行屋崎遺跡出土品 77 点	平 29. 3. 21	原ヶ崎 新田	田上町
町	建造物	椿寿荘	昭 62. 11. 17	田 上	田上町
	史 跡	護摩堂城址	昭 62. 11. 17	田 上	田上町
	彫 刻	金銅菩薩形懸仏	平 12. 4. 12	湯 川	安龍寺
	彫 刻	如来形石仏板碑	平 12. 4. 12	田 上	円福院
	歴史資料	吉沢甚右衛門家資料	平 12. 4. 12	田 上	田上町
	無形民俗 文化財	湯川五社神社神楽	平 12. 4. 12	田 上	湯川五社神社 伶人会
	考古資料	道下遺跡出土・石硯	平 12. 4. 12	原ヶ崎 新田	田上町教育 委員会
	史 跡	伝平賀宝山の墓	平 16. 3. 29	田 上	東龍寺

◆名木一覧

指定番号	名 称	指定年月日	所在地	所有者等
1	東龍寺杉	昭 49. 8. 1	田 上	東 龍 寺
3	霜ふり五葉	昭 49. 8. 25	田 上	山吉 昌介
7	かや	昭 49. 8. 25	下吉田	坂内 悦男
8	越の彼岸桜	昭 51. 9. 1	田 上	川口浩太郎
9	薬師の桜	昭 51. 9. 1	田 上	圓 福 院
10	高野槇	昭 63. 12. 8	下吉田	椿 浩一

6 地区公民館活動補助事業

<目 的>

地区公民館が行うコミュニティ活動及び生涯学習活動を推進するため、その活動に要する経費の一部を補助し、地区の活性化と生涯学習を支援する。

<対 象>

町内全 43 地区

<補助金額>

1,500,000 円（予算総額）

※補助対象は活動費の 1/2 以内で、上限を 15 万円以内とする。

※うち、備品購入費にあつては、上限を 5 万円とする。

<内 容>

- ・地区広報誌の発行
- ・体育、レクリエーションや文化、教養教室の活動に必要な消耗品や備品購入等

7 社会体育事業

＜町主催（共催）の大会関係＞

大会名	日程	会場
第53回町長杯野球大会：青年期～成人後期事業 ⊕	4/13	羽生田野球場
第77回加茂市少年野球大会 （加茂市、田上町）：少年期事業 ⊕	4/29	加茂市七谷野球場
第31回田上町近郷中学校バスケットボール大会：少年期事業 ⊕	4/29	田上中学校体育館
第45回全日本学童野球中越大会予選会 （加茂市、田上町）：少年期事業 ⊕	5/3 5/4	加茂市七谷野球場
第39回田上ライオンズ旗争奪少年野球大会：少年期事業 ⊕	6/29	羽生田野球場、田上小学校グラウンド
第34回高野旗争奪野球大会：青年期～成人後期事業 ⊕	7～9月	羽生田野球場
第41回加茂市学童野球新人戦（加茂市、田上町）：少年期事業 ⊕	9/20	加茂市七谷野球場
第34回田上町ソフトボール大会：少年期～成人後期事業 ⊕	9/28	羽生田野球場
第41回田上町硬式テニス大会：少年期～成人後期事業 ⊕	10/12	コミュニティセンターテニスコート
第48回田上町少年野球大会：少年期事業 ⊕	10/19	羽生田野球場、田上小学校グラウンド
第28回ジュニアバドミントン大会：少年期事業 ⊕	10/19	田上中学校体育館
第33回田上町近郷中学校親善招待野球大会：少年期事業・ ⊕	10/26	羽生田野球場、田上中学校グラウンド
第66回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会：少年期～高齢期事業 ⊕	10/26	役場前発着点
第47回田上町バドミントン大会：青年期～高齢期事業 ⊕	1/18	田上中学校体育館

<スポーツ教室>

教 室 名	日 程	会 場
硬式テニス教室：少年期～高齢期事業	4/6～ 11/30	コミセンテニスコート
スキー教室：少年期～高齢期事業	2/28～3/1	ムイカスノーリゾート (六日町)

令和 6 年度社会教育事業

実 施 報 告

1 社会教育事業

① 会議・研修

○会 議

開催日	名称及び内容	会場・出席者（委員）
7/24（水）	青少年問題協議会	田上町交流会館・22名
9/4（水）	第1回社会教育委員会議	田上町交流会館・7名
2/19（水）	第1回文化財調査審議会	田上町交流会館・4名
3/25（火）	第2回社会教育委員会議	田上町交流会館・8名

○研 修

開催日	名称及び内容	会場・参加者（委員）
8/10（土）	中越地区社会教育研究集会	長岡市立劇場・2名
10/18（水）	新潟県社会教育研究大会	胎内市産業文化会館・2名
10/24（木） 25（金）	全国社会教育研究大会	茨城県水戸市・2名
11/29（金）	田上町・加茂市文化財調査審議会合同 研修会	椿寿荘・加茂市紙漉き場・2名

② 令和6年度ゆうゆう教室

○事業報告

No.	期日（曜日）	主題（内容）	依頼講師	会 場	参加者
1	4月20日（土）	親子で my エコバック作り	小林登喜子（五泉市） 近藤さん（サポート）	交流会館	28 名
2	5月5日（日）	こどもまつりに参加しよう		交流会館	
3	6月22日（土）	親子クッキング 自分で作るピクニック弁当	田上町食生活改善推進員	保健センター	23 名
7月・8月・9月は、お休み					
4	10月12日（土）	カラーサンドのハーバ リウム作り	小柳史子さん 小川さん（サポート）	交流会館	19 名
5	12月14日（土）	ゆうゆうクリスマス 会 親子で作る雪だるま オーナメント	スマイルの会の皆さん	交流会館	親子 26 名
7	1月25日（土）	今年の干支作り	川口比左子 花のみちくさの会	交流会館	11 名
8	3月8日（土）	4・5・6年生対象 おやつ作り	田上町食生活改善推進員 町栄養士	保健センター	23 名

〈成果と課題等〉

- ・交流会館。コミセンで活動されている会の皆さんにご協力をいただきました。
- ・お手伝いのスタッフがいなかったため、保護者の方にお手伝いをお願いすることが多くなっている（親子参加型）。
- ・学校への案内配布のタイミングが、学年で大きく違い保護者からのクレームがありました。期日指定での配布は、学校側は難しいということなので早めに配布する事にしました。

③ 令和6年度 子ども夏休み教室

少年期事業

○事業報告

期 日	内 容	会 場	参加者
① 7月29日(月) 午前9時30分～正午	クラフトテープでミニカゴ作り 講師：江部 由香さん	交流会館	16名参加
② 8月8日(木) 午前10時～正午	新潟薬科大学企画 自由研究&科学教室 新潟薬科大学学生	地域学習 センター	26名参加
③ 8月9日(金) 午前10時～正午	夏のおりがみ教室 モビールを作ろう！ 講師：神保 愛奈さん	交流会館	16名参加
④ 8月11日(日) 午後7時～8時30分	夏の夜空をのぞいてみよう！ 新潟天文研究会 講師：吉田 達雄 他 仲間達	田上町役場 職員駐車場	親子48組 参加
⑤ 8月18日(日) 午前10時～11時	羽生田川でにじますのつかみ取り 共催：田上郷地域農地・水・ 環境保全組織の皆さん	羽生田川	51名参加

〈成果と課題等〉

- ・今年度は、①～⑤のプログラムを実施
- ・全てのプログラムに参加をさせるために講師に相談をして1人でも参加を増やしてもらえるように交渉をしました。
- ・1番人気は、ニジマスつかみですが、50名定員を55名まで増やし対応しましたが、19名の方は、落選となりました。
- ・新潟薬科大学の協力もあり、科学教室として学生さんが頑張ってくれました。

＜次年度への構想＞

- ・大勢参加が出来るプログラムが必要。
- ・自由工作で学校へ提出が出来るような工作作りも必要
- ・学生スタッフの募集



④ 令和6年度 夏休み妙高青少年研修

○ 事業報告

期 日 令和6年8月5日（月）～8月6日（火）：1泊2日

会 場 国立妙高少年自然の家（妙高市大字関山 6323-2）

参加者数

	男	女	合 計
田上小学校	×	9	9
羽生田小学校	3	7	10
田上中学校	6	×	6
スタッフ	5	3	8
引率事務局	1	1	2
合 計	15	20	35

総合計 35名

参 加 費 6,500 円

日 程

期 日	時 間	内 容
8月5日 （月）	午 前	出発（道の駅たがみ集合・出発）
	午 後	アドベンチャープログラム①
	夜	全体のアイスブレイク BINGO 大会ナイトハイク
8月6日 （日）	午 前	クラフト作り
	午 後	スタッフ企画・ふりかえり
	午 後	到着（道の駅たがみで解散）



<成果・課題等>

- ・令和6年度より、施設利用料・食費の値上げあり1泊2日で開催
- ・スタッフも高校生から専門学生・大学生と幅広く集まりました。
- ・参加者も、リピーターから小学4年生初参加の子ども達が集まりました。
- ・大変気温上昇の中、部屋の温度も上がり、夜は、寝付けなかった人が大変大勢いましたが、体調を崩すこともなく、ケガ人もなく無事終える事ができました。
- ・源流体験は、朝からの土砂降りで中止となりました。
- ・1泊2日ではありましたが、大変充実した妙高研修となりました。

令和6年度スタッフ

<次年度への構想>

- ・次年度も1泊2日と計画を進めていきますし、参加者がもう少し増えてくれればと思います。
- ・スタッフも次年度は、変化が出てくるとは思いますが、また新しいスタッフが大勢参加してくれるのを楽しみにしています。



⑤ たがみこどもまつり

○ 事業報告

- <期 日> 令和6年5月5日（日）
- <ねらい> 次世代を担う子どもたちに対し交流会館で活動する団体等を中心に遊びと創造の場を提供することにより、親と子ども関係づくりや地域で子どもの健全育成を図る。また道の駅「たがみ」と連携開催することにより町内外の方から田上町に訪れる機会とする。
- <内 容> ①おもちゃ病院によるものづくり②新潟薬科大による実験教室③似顔絵コーナー④たいこ体験⑤町の子育てサービスの紹介⑥キッズ遊び場等
- <成果と課題>
- ・推計3,400人もの多くの人からの参加があった。
 - ・来場者の中心が午前中であり施設内が大変混みあった。イベントの開始時間を分ける等の対策が必要。
 - ・SNS等で情報発信は不可欠。



⑥ 令和6年度 家庭教育セミナー

○事業報告

ゆうゆう教室・親子クッキング

期 日	内 容	講 師	会 場	参加者
令和6年 6月22日 (土)	—食育・家庭教育事業— 親子クッキング 自分で作るピクニック弁当 (対象：小学生と保護者)	田上町食生活改善 推進員協議会の 皆さん 町栄養士山本	田上町保健センタ ー	親子13組 計32名

〈成果と課題等〉

- ・親子で協力しながらのお弁当作りで、食推さんがサポートしてくれました。
- ・お父さんの参加もあり
- ・料理のレパートリーを増やしたい！というお母さんも大勢参加していました。



親子リトミック

期 日	内 容	講 師	会 場	参加者
① 5月27日(月) ② 9月30日(月)	リトミック体験 (親子参加)	カワイ音楽教室	交流会館 3階 中ホール	親子11組 21名 ① 親子6組 17名

〈成果と課題等〉

- ・春と秋の2回実施
- ・親子で季節を感じながらのリトミックを楽しむ事ができました。
- ・定期的に開催して欲しいとの声も



クリスマス・ピアノで遊ぼう&子育てトーク

期 日	内 容	講 師	会 場	参加者
12月9日(月) 10:00~11:00	クリスマスピアノで遊ぼう &子育てトーク	田澤 葉月	交流会館 3階 中ホール	親子 13組 合計 27名

〈成果と課題等〉

- ・音楽のある子育てには、ピアノが弾けるママさん5名がピアノパートをその他のママと子どもさんは、ベルを持ってパート練習。
- 最後には、全員でもろびとこぞりてを合唱（子育て中は、ピアノを弾くこともなかったとの声）
- でも、ママさん達に火がついていきいきとピアノを弾く姿は、感動を与えてくれました。
- ・音楽の力で子どもも保護者もリフレッシュすることが出来た。



⑦ KIDS 遊び場 （多目的ホール開放）

○事業報告

4/2・9・16・23	4回開催	10/22・29	2回開催
5/7・14・28	3回開催	11/12・19・26	3回開催
6/4・11・18・25	4回開催	12/3・10・17・27	4回開催
7/2・9・16・23	4回開催	1/7・14・21・24・28	5回開催
8/20・23	2回開催	2/4・7・21・25・28	5回開催
9/3・10・24	3回開催	3/11・21・25・28	4回開催

〈成果と課題等〉

- ・気温上昇により夏場の開放も大変好評でした。
- ・天候不良の冬場は、火曜日以外も回数を増やしながら開催
- ・火曜日の午後に定着し次年度も継続して火曜日の午後開放を検討

⑧ 令和6年度 ひなまつり

○事業報告

開催期間 2月8日(土)～3月20日(祝日)

(交流会館展示：3月20日(祝日)まで)

今年度は、ひなまつりとして、交流会館・道の駅・椿寿荘・湯田上温泉での展示となりました。

〈成果と課題等〉

- ・交流会館を利用しているサークルのスマイルの会が協力していただき、和布で作る小物の作品や、吊るし雛など沢山の作品展示をしていただきました。
- ・会によるワークショップも開催
- ・折り紙の吊るし飾り、絵手紙、あみぐるみ、木目込み人形、折り紙のおひなさまを展示しました。
- ・ひな巡りからひなまつりとして開催しましたが、毎年バージョンアップし、大勢の方が来場しました。



⑨ おはなし会

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 絵本を通しての親子のふれあいの場を提供する。また、さまざまなジャンルの絵本に出会うきっかけを作り、図書の利用につなげる。

＜日 時＞ 毎月1回 第1土曜日 10時30分から30分程度

＜内 容＞ 絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び

＜読み手＞ 地域学習センター職員、たがみサニープレイス

＜会 場＞ 地域学習センター 研修ルーム

No.	実施日	参加人数
1	4/6（土）	7人
2	5/4（土）	4人
3	6/1（土）	3人
4	7/6（土）	6人
5	8/3（土）	3人
6	9/7（土）	11人
7	11/2（土）	6人
8	12/7（土）	7人
9	1/4（土）	8人
10	2/1（土）	10人
11	3/1（土）	0人

※10月は蔵書点検期間につき実施せず

＜成果と課題等＞

- ・毎回のように参加している親子がいるなど、おはなし会を楽しみにしている参加者がいることは大きな成果だと思う。
- ・おはなし会の終了後は、図書コーナーに寄って何か絵本を借りていく方が多いように感じる。着実に利用につながっているとやってよいと思う。
- ・学習センター利用者を増やすためにも、今まで参加したことのない方々へのアプローチの手段も考えていきたい。

⑩ 特別おはなし会

地域学習センター事業

- <ねらい> 田上町で活動が続けている読み聞かせボランティア3団体と地域学習センターが協力して、田上町の子どもたちに絵本の楽しさを味わってもらう機会を設ける。また、地域学習センターに、より多くの子どもたちに足を運んでもらうきっかけを作りたい。
- <内 容> 絵本・紙芝居の読み聞かせ
- <読み手> 田上小読み聞かせボランティア・羽生田小読み聞かせボランティア・たがみサニープレイス
- <会 場> 地域学習センター 研修ルーム

①こわ〜いおはなし会

<日 時> 令和6年8月10日（土） 1回目 10:00〜 2回目 11:00〜

<実施結果>

参加者 1回目…子ども10人・大人8人 2回目…子ども4人・大人4人

<成果と課題等>

- ・毎年楽しみにしている子どももいて、この時期の催し物として定着しているように思う。今後もぜひ続けていきたい。
- ・参加者が前回までと比べて少なかった。田上夏まつりと時間は重ならなかったが、同じ日に行事があったことが影響していたのかもしれない。
- ・時間帯を変える（夜に開催しているところもある）など、少しやり方を考えてみる余地もあるかと思う。

②クリスマスおはなし会

<日 時> 令和6年12月14日（土） 1回目 10:00〜 2回目 11:00〜

<実施結果>

参加者 1回目…子ども12人・大人11人 2回目…子ども6人・大人6人

<成果と課題等>

- ・ゆうゆう教室と日程が重なってしまったので集客がたいへん不安だったが、2回で35人の参加があり、まずまずの結果だったと思う。
- ・30分弱のおはなし会の間、未就園児もいたが騒ぐ子もなく、みんな楽しんでくれた。クリスマスにちなんだ折り紙作品のおみやげも好評で、この時期の企画として定着してきているように思う。
- ・これだけの参加人数だと1回で行うのは難しいので、2回目は人数が少なくなりがちではあるが、やはり2回公演にしたほうがよさそうである。

⑪ 幼小中連携

地域学習センター事業

- ＜ねらい＞ 園児・小中学生のみなさんに地域学習センターを身近な存在として認識してもらい、いろいろな形で利用してほしい。そのために、まずは保育・授業時間中に見学や体験等での利用を促す。
- ＜内 容＞ 幼児園と各学校に案内を配布し、見学・体験等を随時受け付ける。

①田上中学校職場体験

＜日 時＞ 令和6年6月25日（火） 9:00～11:00, 13:00～15:00

＜実施結果＞

参加者 9:00～11:00 4名
13:00～15:00 4名

＜成果と課題等＞

- ・生徒たちはそれぞれ真剣に取り組んでおり、自分の作業が早く終わった生徒が自ら他の生徒を手助けする姿が見られた。
- ・普段あまり本を読まないと話していた生徒も、それぞれに思い出の本はあるらしく、館内案内の際にそれらを探す姿も見られた。
- ・課題図書・センターだより本集めでは、「あった！」と声を弾ませる様子も見られ、さながら宝探しだった。
- ・予定していた体験内容を終えた時点で、5分余っていた。時間になってから部屋を出るように伝えて終了したが、5分あれば絵本1冊くらいは読んであげられたと後悔した。

②羽生田小学校施設見学

＜日 時＞ 令和6年10月11日（金） 9:45～10:45

＜実施結果＞

参加者 児童 3名 、引率 1名

＜成果と課題等＞

- ・前回担当した施設見学よりも人数が少なく、見学行程にも余裕を持たせたことから、時間が余ることを想定していたが、実際はギリギリだった。当日欠席の児童がいたために質問者の割り振りに時間がかかったこと、館内見学の際に行動の流れができなかったことが原因と思われる。
- ・「学習センターのおやくそく」の確認では、学習センターを利用したことのある児童が積極的に手を挙げて発言してくれた。館内で食事をする機会がないのか、それについては児童からの回答はなかった。
- ・館内見学には飽きている様子も見られた。説明ばかりでなく、児童への問いかけを取り入れるなどの対策を考えたい。

⑫ 卯月のうららか春語り

地域学習センター事業

<ねらい> 大人向けのイベントを開催し、来館のきっかけとしたい。自分で文字を追って読むのとは違った読書の魅力に気づくことで、今まで手を出していない分野の本への興味を深めてほしい。

<日 時> 令和6年4月20日（土）10:00～11:30

<内 容> 大人向けの朗読会

<講 師> 朗読ボランティアサークル「雲雀」

<会 場> 地域学習センター 研修ルーム

<実施結果>

参加者 11名

<成果と課題等>

- ・「大人のための」と冠したイベントは初めてだったが、興味を持って参加してくれる人がいた。
- ・新しいイベントを企画し継続していく際に、どのように受け入れてもらうのが課題。
- ・出演者との連絡の取り合いがうまくいかなかった。出演予定者の入れ替わりがあり出演を打診したときよりも人数が増加したこと、連絡が伝言ゲーム状態だったことが原因と思われる。出演者全員に同じ情報が伝わるよう、連絡方法の検討が必要。
- ・聴くばかりではなく、来場者が参加できるワークショップやミニゲームなどがあるとより楽しめたのではないかな。

⑬ ふくちゃんと絵本を楽しもう！

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 田上町では3つの読み聞かせボランティア団体が活動しているが、近年メンバー不足で苦慮しているとの声がある。そこで、まずは多くの人に絵本に興味を持ってもらうことを主眼にし、家族で絵本を楽しむきっかけとなる場を作りたい。

＜日 時＞ 令和6年5月11日（土）午前10時～12時

＜内 容＞ ・第一部「ふくちゃんの絵本らいぶ」10:00～10:30
・第二部「家族で絵本を楽しもう！」10:40～11:40

＜講 師＞ 福島はるおさん（絵本楽語家・新潟市在住）

＜会 場＞ 地域学習センター 研修ルーム

＜実施結果＞

参加者 第1部…子ども6人・大人12人 第2部…大人14人（子ども同伴2人）

＜成果と課題等＞

- ・第1部の、子どもの参加が少なかったのが残念だった。（第2部に参加予定の大人の方が第1部にも大勢来てくださったので、にぎやかになってよかった。）
- ・初めてこの類のイベントに参加した方が数名いらした。直接的に読み聞かせボランティアとして活動するところには結びつかないと思うが、「絵本を楽しむ」ということに目覚めてもらえたのではないかなと思う。これを機に絵本や読み聞かせに興味を持つ人が増えてくれると嬉しい。

⑭ セタかざりをつくろう！

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 繰り返し足を運びたいような、季節感のある催し・展示を行いたい。
令和5年度まではおはなし会後にワークショップを行っていたが、より幅広い世代に参加してもらうため、令和6年度はおはなし会とは別で実施する。

＜日 時＞ 令和6年6月1日（土）～7月7日（日） ※展示は7月一杯
①かざり：6月1日（土）と期間中の毎週木曜・日曜
②短 冊：期間中随時

＜内 容＞ 折り紙を使ってセタかざりや短冊を作り、図書コーナーに展示する。

＜会 場＞ 地域学習センター 図書コーナー

＜実施結果＞

参加者 短冊：17名 ★セット：3名 ★★セット：0名

＜成果と課題等＞

- ・初日に見本写真とは異なる作品ができたことで、後から参加する人のハードルが下がったように思う。
- ・参加しなかった利用者でも、熱心に短冊を眺めてほほ笑む姿が見られた。
- ・未就学児の参加もあったが、たどたどしいながらも真剣に願い事を書く姿が見られた。
- ・「普段（帰りが遅くて）子どもと一緒に何かすることが少ないので、話をする良い機会になりました」との感想をいただいた一方で、図書コーナー内に工作スペースを設置したため、参加者の声にひやひやすることがあった。
- ・閉館時間との兼ね合いから、工作セットの配布は一律16時までとしたが、平日は幼児・児童共帰宅時間前であることが多いようだった。
- ・数量限定としたが、昨年までよりも日数が増えたこととセットを作る作業が増えたことで、手間とコストがかかることがわかった。来年度は一日当たりの数量や日数を減らすことを検討したい。

⑮ はいねの会 昔話語りの会「あじさい語り」

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 地元の語り部サークルの方を講師に迎え、地域にまつわる内容のものを
含む昔話の語りを楽しんでほしい。新規来館者の開拓にもつなげたい。

＜日 時＞ 令和6年6月29日（土）午前10時～11時30分

＜内 容＞ 昔話の語り、朗読劇、手遊び

＜講 師＞ 語り部サークル「はいねの会」

＜会 場＞ 地域学習センター 研修ルーム

＜実施結果＞

参加者 大人 21 人

＜成果と課題等＞

- ・昨年・一昨年に引き続いて3回目の開催で、今回は21名の参加であった。アンケートを見てもたいへん好評で、またお願いしますとの声も複数寄せられた。この時期の恒例行事として、今後もぜひ続けていきたい。

⑩ 夏休み読書ビンゴ

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 夏休み期間に読書の機会を増やすことを目的に実施する。ビンゴの形式にすることにより普段は手に取ることのない分類の本を読んでもらい、読書に興味を持つことを促す。また、様々な分類の本を探すことにより図書コーナーの書架の配置や利用方法を知ってもらう。

＜期 間＞ 令和 6 年 7 月 25 日（木）～ 8 月 30 日（金）

＜内 容＞ 日本十進分類法の分類（背ラベル）の数字（背ラベルに記載の三桁の数字の一行目の数字）を 9 マスに配置したビンゴ台紙を使用。貸出 1 回につき、1 マスに押印する。縦、横、斜めのいずれか一列がそろったら景品を渡す。台紙は「児童向け（押印対象の本が児童書）」と「大人向け（押印対象の本が一般書）」の 2 種類を用意する。
学習センターの本が日本十進分類法に従い書架に配置されていることを知ってもらう目的があるため、台紙配布の際には、台紙裏に記載した日本十進分類法についての内容を読んでもらうよう参加者に促す。

＜会 場＞ 地域学習センター 図書コーナー

＜実施結果＞

参加者（台紙配付枚数） 児童向け（押印対象の本が児童書）：79 名

大人向け（押印対象の本が一般書）：54 名

達成者 児童向け（押印対象の本が児童書）：14 名

大人向け（押印対象の本が一般書）：9 名

＜成果と課題等＞

- ・大人向け（押印対象の本が一般書）の台紙での参加者から「いつもは読まない（分類の）本を読むことができよかった。」という声を数件いただいた。
- ・児童向け（押印対象の本が児童書）の台紙での参加者から「この（空いている欄の分類の）本はどこにありますか？」と問いがあり、その分類の棚へ案内することがあった。
以上から、イベントのねらいである「普段は手に取ることのない分類の本を読んでもらい、読書に興味を持つことを促す。」は達成できたと考える。
- ・参加者数（台紙配付数）に比べビンゴ達成者の数が少なかった。普段読むことがない分類の本を貸出しなければならないことや、ビンゴ表の配列に問題があったことが原因と考えられる。次に開催する場合は、ビンゴ達成が容易になるよう配列を考える必要がある。
- ・今回はイベント終了日と景品配付終了日が同じであったが、台紙を忘れて後日押印する参加者が景品を受け取れるように、景品渡し期限をイベント終了日後に設定する。
- ・景品は葉 2 枚としていたが、枚数を増やして参加を促す。

⑰ 宿題おたすけ相談会

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 資料の検索・相談や県立図書館からの貸借は通常の業務の中でも行っているが、利用率は低い現状がある。夏休み中に作文や調べ学習に絞って相談日を設け、それらのサービスを駆使した学習サポートを行うことで、子どもたちや保護者へのサービス周知につなげたい。

＜日 時＞ 令和6年7月26日（金）～8月30日（金）の内、火・金・日曜日

＜内 容＞ 夏休み中に数回相談日を設定し、作文や自由研究、その他調べ学習に関する相談にのる。

＜会 場＞ 地域学習センター 図書コーナー

＜実施結果＞

参加者 1組※小学4年生親子

※8/26（月）には2組3名から「今日はやっていないのか」というお問い合わせがあり、通常のレファレンスとして対応した。

※正確な日付は定かではないが、お盆期間中の担当者不在時に同様のお問い合わせがあった様子。相談日ではないことを伝え、問合せ者自身が目当ての本を見つけたため、特に対応はしなかったとのこと。

＜成果と課題等＞

- ・予約開始を7/1としたが、新着図書の入れ替え等であまり時間がとれない、夏休みの課題が発表されていない、という事情から得策ではないと思われる。
- ・チラシは設置直後から数枚が捌けた。最初に印刷した分はすべて捌けたため、興味がある人はいる様子。
- ・相談会実施場所は図書コーナーを予定していたが、相談者の集中を保つ観点から7/30は研修ルームで実施した。
- ・相談会参加の際に同級生親子が居合わせたらしく、その保護者が相談会に興味を示していた。（子どもは恥ずかしがっていた）
- ・地域学習に関する宿題で提供できる資料情報の乏しさを痛感した。
- ・実施していない日に「今日はやっていないのですか」と尋ねられた際に、次の実施日を案内するなど、対応を共有しておけばよかった。夏休み終盤に同様のお問い合わせがあった際には、通常のレファレンスとして対応した。
- ・近隣図書館でも「まちやま探偵事務所」と題した同様のイベントを開催している様子（8/1-8/29）。相談会のご案内をした際に「まちやまの方がたくさん本を紹介してもらえそうだから」と断られたことがあった。

⑱ 秋の読書週間「ブックツリーをつくろう！」

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 読書週間を含む3か月を利用して、ブックツリーを作成する。利用者から募った「好きな本」や「思い出の本」を展示することで、利用者同士の情報共有を促し、貸出の増加につなげる。また、地域学習センター職員が利用者の需要を知ることで、今後の選書にも役立てたい。

＜日 時＞ 読書週間（令和6年10月27（日）～11月9日（土））を含む3か月

＜内 容＞ 利用者から「好きな本」「思い出の本」を募り、ブックツリーを作成する。

＜会 場＞ 地域学習センター 図書コーナー

＜実施結果＞

参加者 24名

＜成果と課題等＞

- ・イベント前からりんごの芽が生え成長していく演出は昨年同様だが、今年はじょうろも設置して水やりできるようにした。幼児・低学年も楽しんでいたようだが、高学年・中学生も、水が出て戻る仕組みに興味を持って観察していた。
- ・自分が書いたものが掲示されるのがうれしいようで、かわるがわる両親祖父母の手を引いて来館する子どもの姿も見られた。
- ・用紙の記入をしていない利用者も、掲示されたものを眺めたりその本を探したりする姿が見られた。

⑱ 蔵書点検

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 地域学習センターで所蔵する資料について、紛失しているものがないか、所定の場所に収められているかを点検する。

＜日 時＞ 令和 6 年 10 月 4 日（金）～10 月 11 日（金）

＜内 容＞

- ・ 蔵書点検用の機器を使って、1 冊ずつバーコードを読み込む。
- ・ 読み込んだデータをまとめ、データと合わない資料は再度確認を行う。
- ・ 書架の移動・整理を行う。
- ・ 開館中にはできない箇所の清掃を行う。

＜実施結果＞

蔵書冊数：22,438 冊 点検冊数：21,536 冊 不明：8 冊 除籍：3 冊

＜成果と課題等＞

【事前準備】

- ・ 昨年同様、事前書架整理が作業開始に間に合わなかった。昨年までよりも学習席利用者が多く情報交換コーナーの書架整理が躊躇われた上、点検期間前に利用者がカウンターに侵入する事例が発生しカウンターから離れ辛い状況があったことが原因と思われる。蔵点前だけでなく常日頃から書架整理をしっかりとしていくことを心掛けたい。
 - ・ 点検作業では目立ったトラブルもなく、順調に作業を進めることができた。
- 昨年の反省を踏まえ、全員で足並みをそろえて作業を進めること、エラー・不明検索の際に検索回数・検索者を用紙に記録すること、用紙に書き込むマークを統一することを徹底した。
- ・ 昨年は手が付けられなかった、情報交換コーナー1.2の書架清掃を行うことができた。事典や郷土資料など、貸出が少ないと思われる本の棚板は埃が多かった。また、美術全集のうち1冊に爬虫類のものと思われる糞が付着していた。虫の死骸や蜘蛛の巣、埃の塊なども付着していたことから、今後は、年1回の点検に加え、数カ月に1回の清掃を行いたい。

② 新春！本の福袋

地域学習センター事業

- <ねらい> 出足の鈍る年明け、季節感あるイベントを開催することで利用者の来館につなげたい。また、中身がわからない福袋を通して、自分では選ばない本を手にとってもらい、本との新しい出会いとしたい。
- <日 時> 令和7年1月4日（土）～ ※なくなり次第終了
- <内 容> ・各福袋のテーマに沿って、セットにする3冊を選ぶ。
・製作福袋数は20袋。（内訳：大人向け10袋、YA（中高生）向け2袋
小学校低学年向け3袋、幼児向け5袋）
・図書コーナーの雑誌コーナー脇に特設コーナーを設置して貸出を行う。
- <会 場> 地域学習センター 図書コーナー
- <実施結果>

1日目（1/4）	7袋貸出
2日目（1/5）	1袋貸出
3日目（1/6）	2袋貸出
4日目（1/7）	5袋貸出
5日目（1/8）	3袋貸出
6日目（1/9）	貸出なし
7日目（1/10）	貸出なし
8日目（1/11）	2袋貸出（終了）

<成果と課題等>

- ・福袋を利用することにより、普段手に取らない分類の本を利用いただけたと思われる。
- ・一般コーナーの右奥に特設コーナーを設けたが、利用者の目に留まりにくかった。
- ・残り2袋になった時点で利用者の動線上に移動して利用を促した。入口すぐの特集コーナー脇に移動したところ、翌日に貸し出されたことから、来年度は利用者の動線に沿った場所に設置したい。
- ・幼児と低学年の福袋は、児童コーナーへ行く動線上になかったためか貸出が進まなかった。
- ・大人向けの福袋は貸出が早く進んだ。
- ・本を入れるのに適した紙袋を収集することが難しいため、来年度は包装紙などを使用し本を包むことも検討したい。

②① 大型布絵本を楽しもう!!

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 田上町では3つの読み聞かせボランティア団体が活動しているが、近年、メンバー不足で苦慮しているとの声がある。そこで、家庭で触れる機会の少ない布絵本をイベントテーマとして取り上げることで、おはなし会そのものに興味を持つきっかけとしたい。また大勢の方に学習センターに来館してもらうきっかけ作りになることを期待する。

＜日 時＞ 令和7年3月8日（土）午前10時～11時40分

＜内 容＞ ・10:00～10:30 布絵本の読み聞かせ
・10:40～11:40 布絵本制作エピソード～企画から完成まで～

＜講 師＞ 布絵本をつくる会タッチ（三条市）

＜会 場＞ 地域学習センター 研修ルーム

＜実施結果＞

参加者 第1部…子ども8人 大人22人 第2部…大人17人(子ども同伴1人)

＜成果と課題等＞

- ・申し込みは定員に達しなかったが、当日受付の読み聞かせには子どもも多数参加し、結果的には大盛況だったと思う。
- ・第2部の製作エピソードをお聞きする際に、参加者から質問があまり出なかった。事前にこちらで用意しておけばよかった。
- ・次回は子ども向けの読み聞かせメインのイベントでも楽しめるのではないかなと思う。

②② 学習センター4周年！雑誌付録プレゼントスタンプラリー

地域学習センター事業

＜ねらい＞ 学習センターは令和7年3月に4周年を迎える。それを記念し、利用者への感謝の気持ちを込め雑誌付録を進呈する。また、付録がつく雑誌の発行回数が減少していることから用意できる付録の数が少ないため、「達成者全員プレゼント」を設けスタンプラリー達成者に景品を配付する。

＜日 時＞ 令和7年3月8日（土）～4月5日（土）

※雑誌付録の配付はなくなり次第終了。

※スタンプ押印期間は上に同じ。

※達成者全員プレゼント配付は4月12日（土）まで実施。

＜内 容＞ 1回本を借りるごとにスタンプ1つを押印し、所定の個数がたまったら景品と交換する。

＜会 場＞ 地域学習センター 図書コーナー

＜実施結果＞

1) 参加者数（台紙発行枚数を参加者数とする。再発行枚数は除く。）：129名（再発行枚数は2枚。）

2) 「達成者全員プレゼント」配付者数（景品不要者数2名を除く。）：54名

3) 「雑誌付録」は用意した全個数（32個）配付が完了。

4) 雑誌付録全配付終了日：3月28日（金）※イベント開始から21日目。

＜成果と課題等＞

1) 多数の利用者に参加していただいた。

2) 「達成者全員プレゼント」を設定したことで、雑誌付録の配付が終了しても3回目まで貸出を継続していただけた。

3) このイベントを楽しみにされ毎年参加されている利用者がいらっしゃるが、イベント開始3日目に達成され、雑誌付録を受け取られる方数名が前年と同じ方かと思われるということがあった。雑誌付録を受け取る機会が他の利用者へも平等となるよう、対策が必要である。

②③ 大人のためのゼミナール

○事業報告

分 類	内 容	実 施 日	講 師	参加者
趣 味	心に寄り添う おじぞうさん教室 (絵手紙)	① 4月13日(土) ② 5月11日(土)	藤田 郁美 さん	① 14名 ② 13名 合計 27名
	和布細工 こいのぼり作り	4月24日(水)	水野 明子 さん (サポート) 4名 中澤・斎藤 吉田・鶴巻	19名
	季節の折り紙教室	② 5月29日(水) ② 12月11日(水) ③ 2月19日(水)	燕市児童研修館 「こどもの森」 館長 神保 一江	① 13名 ② 13名 ③ 14名
	夏祭り復活!! 田上甚句講習会	8月3日(土)	田上甚句太鼓保存会	39名
	気軽に花茶を楽しむ 教室	① 6月29日(土) ② 9月7日(土)	窪田 恵 さん 茂木 美知子 さん 羽賀 美枝子 さん	① 13名 ② 8名
	クリスマスリース作り	12月4日(水)	はな舞 宮田 文香 さん	7名

※教室を開催するために必要な参加者数に満たない場合は中止する。

〈成果と課題等〉

- ・心に寄り添うおじぞうさん教室・気軽に花茶を楽しむ教室は、教室終了後に参加者から続けていきたいとの声があがり、新サークルとして活動をスタートしました。
- ・夏祭り復活の田上甚句講習会は、大変大勢の参加者があり、その後に保存会の練習に参加する方も増えました。
- ・講座の開催には、行事・季節・会場確保が大きな課題となってきた。



花茶を楽しむ教室



心に寄り添うおじぞうさん



折り紙教室

②④ 終活講座

○事業報告

No.	実施日	内 容	参加者
1	11/5 (火)	「終活」とは	18 名
2	11/12 (火)	「終活」にまつわるお金の話	18 名
3	11/19 (火)	「終活」にまつわる葬儀・お墓の話	19 名

<成果・課題>

- ・各回20名募集のところ、定員に近い申し込みがあり、関心の高さが伺えた。
- ・個人だけでなく子どもと親や夫婦での参加があり、様々な方々が終活を考える機会を提供出来た。
- ・終活で一番関心が高いお金について、一般的な例として説明してもらった。個別具体的なお金の話をしてもらう場合、税理士を講師にしないといけないため今後の課題である。
- ・講座終了後、個別相談に対応する時間を設け参加者から好評であった。

㊥ 文 化 祭

少年期～高齢期事業

<事業報告>

- ・展示の部 令和6年10月11日（金）～15日（火） 会場：交流会館
 芸能の部 令和6年11月17日（日） 会場：交流会館
- ・出展者及び出展作品
 展示の部…出展団体30団体、出展作品約307点以上
 芸能の部…出演団体15団体、15プログラム
- ・来場者数合計3,310名（展示の部：2,409名、芸能の部：901名）
 ※令和5年度から会場入口にデジタルカウンターを設け、来場者の出入りを数値で読み取ったものである。

<成果・課題>

- 展示の部、芸能の部の日程を分けることにより多くの方から来場していただくことができ、1階フロアのみで実施したことにより、2階以上に上がることなく観覧できたことがとても良かったとの声が多くあった。
- 昨年度よりも展示期間を3日間少なくして実施したが、来観者からもう少し長くしてもらいたいとの意見が一部あったが、出品者からは運営上の問題もあり丁度よい期間であるという意見が多かった。
- 各団体の協力を得てスムーズに準備、撤収を行えた。
- 展示の部の会場に多くの作品が集中すると、展示スペースが限られている関係で工夫が必要となる。

㊼ 二十歳のつどい

少年期～高齢期事業

<ねらい>

20歳を祝うと同時に、大人としての自覚を高めてもらう。

<対 象>

【平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた方（第71回）】

上記のどちらかの前提条件を満たした方で、以下のいずれかに該当する方。

- ①町内に住所を有する方。
- ②町内に住所を有していないが、田上中学校を卒業した方。
- ③町内に住所を有していないが、町内の小学校を卒業し、両親等が町内に住所を有している方。

<事業報告>

【令和6年度 田上町「二十歳のつどい」】

- ・日 時 令和7年3月20日（水） 午後2時～3時
- ・会 場 田上町交流会館 多目的ホール
- ・内 容 ①式典 ②写真撮影③アトラクション
- ・対 象 者 97名うち参加者70名

<成果・課題>

- ・今年度初めて、田上町ブランド協議会と連携し開催した。参加者に竹短冊に願い事を記載してもらい、道の駅雁木につるした。
- ・アトラクションで道の駅「たがみ」の駅長より講演してもらい、参加者に田上町の魅力やエールを贈ってもらった。

㊼ ふるさと歴史講座

少年期～高齢期事業

<事業報告>

No.	実施日	内 容	講 師	会 場	参加者
1	6/15(土)	田上の古代を考える	中山 之隆	田上町交流会館	24 名
2	9/28(土)	湯田上温泉の歴史	細井 廣行 中山 之隆	田上町交流会館	24 名
3	3/1(土)	伊勢詣とオシモイリ	中山 之隆	田上町交流会館	24 名

<成果・課題>

○「田上の古代を考える」では「越」の画定では、畿内（五国…大和、山城、摂津、河内、和泉）の解説と「愛発の関」で福井県愛発山辺りにあった古代の関所で伊勢鈴鹿、美濃の不破とともに三関の一つであることや紫式部が越前から帰京の際に木ノ芽峠で詠んだとされる歌を解説し大河ドラマ「光る君へ」を取り上げながら興味をそそる講座だった。

○「湯田上温泉の歴史」では、田上の湯から湯田上温泉と呼び方が変わった時期や温泉街の坂道に階段はあったのか。元文3年(1738 年)に湯元の支配者であった圓福院が湯屋の支配を村方と決定する「湯元条目」が交わされたことなど湯田上温泉の成り立ちを知る機会となった。

○「伊勢詣とオシモイリ」では、田上人3名と他2名で81日間の旅を行い、参宮と西国札所巡りでの道中を街道の様子や参拝の状況など解説して参加者は興味深く聞いていた。

○歴史講座は時期を考えたらうで数回実施できると良い。

㊽ 田上町史を読む会

少年期～高齢期事業

<事業報告>

No.	実施日	内 容	講 師	会 場	参加者
1	7/13(土)	戊辰戦争と両田巻家	中山 之隆	田上町地域学習センター	24 名
2	10/12(土)	与五右衛門家と壇論出入り	〃	〃	25 名
3	1/11 (土)	護摩堂山論	〃	〃	27 名
4	3/8 (土)	田上町における農地改革	〃	〃	24 名

<成果・課題>

- ・令和6年度に初めて開催し毎回定員を上回る申し込みがあった。「与五右衛門と壇論出入り」では県外からの参加者があった。
- ・今後、参加者の中から歴史知識を次世代につなげる人材育成につなげたい

㊹ 源氏物語基礎知識

<事業実績>

- ・開催日 10月5日（土）
- ・会場 田上町交流会館
- ・時間 午後2時00分～午後3時30分
- ・講師 新潟県立歴史博物館 学芸課長 浅井 勝利 様
- ・参加者 40名

<成果と課題>

- ・大河ドラマの影響もあり町内外より小学生から高齢の方まで幅広い参加があった。
- ・源氏物語だけでなく平安時代の暮らし等、物語の背景も含め深く知る機会となった。
- ・平安時代の田上町のことについても話が出来ればより良かった。

㊺ 生涯学習ボランティア養成講座

<事業実績>

- ・開催日 6月30日（日）
- ・会場 田上町交流会館
- ・時間 午後9時30分～午後11時
- ・内容 ①地区ボランティアとは
②研修「地区活動で使えるおりがみ教室」
- ・講師 燕市児童研修館「こどもの森」館長 神保一江 様
- ・参加者 17名（地区推進員16名、ボランティア1名）

<成果と課題>

- ・地区ボランティア養成講座に参加者が少ないため、周知に工夫が必要。
- ・2月開催の「たがみひなまつり」への出展を念頭におりがみ教室を実施し、初心者でも出来る作品作りを行い好評だった。
- ・学んだことを地区活動につなげられるよう支援が必要。

㊼ 令和6年度ストレッチ教室

○事業報告

No.	月	①	②	参加者	会 場
1	4月	1日	15日	107名	田上町交流会館 多目的ホール
2	5月	13日	20日	108名	
3	6月	3日	17日	112名	
4	7月	1日	22日	110名	
5	8月	×	26日	50名	
6	9月	2日	9日	104名	
7	10月	7日	21日	106名	
8	11月	11日	18日	108名	
9	12月	2日	16日	112名	
10	1月	6日	20日	102名	
11	2月	3日	10日	108名	
12	3月	×	17日	53名	

総合計 1,180名

〈成果と課題等〉

- ・月2回の教室に皆さん楽しみに参加してくれていることは、継続の力
- ・田上町だけではなく、加茂市・三条市・燕市からの参加者も増加
- ・家庭でも出来る運動をもっと紹介し、体力向上・健康増進を目標にできるように。
- ・参加者がこれ以上になると動きがとれなくなってしまうのは、課題



③2 ちょいトレ

少年期～高齢期事業

○事業報告

分 類	実 施 日	内 容	講 師	参加者
運 動 ちょいトレ	11月6日（水）	新潟経営大学プログラム かんたん！ スッキリトレーニング	新潟経営大学 講師・フィジカルコーチ 五十嵐 真也 様	10名
	11月13日（水）	リズム運動	アクティブシニア指導者 国兼 朋子 様	11名
	11月20日（水）	からだすこやか運動	からだすこやかくらぶ 指導者 小林 笛子 様	6名
	11月27日（水）	歪みすっきりヨガ	ヨガインストラクター 山本 春花 様	9名

合計 36名

〈成果と課題等〉保健福祉課・交流会館との共催事業

- ・申込み者数 12名
- ・新規メンバー募集（リピーターが毎回参加傾向にあるため、新メンバーを募集）
- ・保健師・栄養士によるワンポイントアドバイスを毎回実施



㊸ 町内スポーツ指導者研修会

青年期～高齢期事業

<事業実績>

- ・開催日 10月12日(土)
- ・会場 田上町交流会館
- ・時間 午後7時00分～午後8時30分
- ・講師 新潟経営大学 講師 五十嵐真也 様
- ・内容 「知識の啓発／行動の変容」～自分で選択し行動する子どもの育成
- ・参加者 田上町内のスポーツ指導者、関係者、町民 合計12名

<成果と課題>

- ・新潟経営大学との連携事業として実施した。
- ・昨年度実施時に「スポーツ指導者だけでなくスポーツ少年団に入団している保護者や町民向けに実施してほしい」との要望があり、それに応える形で行うことができた。
- ・グループワークを交えながら行った中で、指導者に対する保護者の不満が時折垣間見えた。今後は「子どもへの指導」という側面以外にも、「指導者と保護者」という観点から、その関係性について学ぶ機会を提供してもよいのでは、感じた。

㊸ 田上町トレーニング教室 IN 新潟経営大学

青年期～高齢期事業

○事業報告

分類	回	実施日	内容	申込者
運動	第1回 ①	8月23日	開講式、肩甲骨ストレッチ、スクワット、プランク、ダンベルカール他	男性6名 女性7名 計13名
	第1回 ②	8月30日	肩甲骨ストレッチ、プランク、ベンチプレス、スクワット、アームカール他	
	第1回 ③	9月6日	肩甲骨ストレッチ、プランク、インクラインベンチプレス、ケーブルフライ他	
	第1回 ④	9月13日	肩甲骨ストレッチ、プランク、スクワット、デッドリフト ダンベルエクササイズ他	
	第1回 ⑤	9月20日	肩甲骨ストレッチ、プランク、ハイインテンシティートレーニング、閉講式	
	第2回 ①	2月28日	開講式、ベンチプレス、スクワット、デッドリフト他	男性4名 女性4名 計8名
	第2回 ②	3月7日	スクワット、デッドリフト、ケーブルバイセップスカール、ケーブルフライ他	
	第2回 ③	3月14日	レッグプレス、逆さ懸垂、インクラインベンチプレス、アームカール他	
	第2回 ④	3月21日	エアロバイク、トレッドミル、レッグエクステンション、ショルダープレス他	
	第2回 ⑤	3月28日	ベンチプレス、スクワット、デッドリフト、アームカール、閉講式	

講師：新潟経営大学 講師 五十嵐 真也 氏
学生スタッフ 九鬼 ゆら 他4名

会場：新潟経営大学トレーニングセンター、アリーナ
＜成果と課題等＞

- ・第1回～第2回の合計人数として、男性10名、女性11名の参加があった。
- ・講師と学生スタッフによる熱心で丁寧な指導により、参加者全員が楽しくトレーニングすることができた。
- ・昨年度実施時に出た要望から、柔軟運動や有酸素運動をメニューに組み込むなど、より参加者の希望に沿った内容で行うことができた。
- ・計画当初は参加人数や受講者の身体レベルに応じて、プログラム内容と実施時間を変えて2部制での実施を検討していたが、予想よりも参加申込みが少なく、1グループ全員で同じプログラムを実施できそうとの判断から、2部制の採用は見送った。
- ・事業のマンネリ化を防ぐ意味で、今後は違う会場、内容等での実施も検討したい。



㊼ スポーツ推進委員主催事業（たがみモリモリ運動大学）

少年期～高齢期事業

<事業実績>

期日	内容等	参加者
9月22日（日）	親子ふれあい運動会 会場：交流会館	親子8組（延べ22名） ※未就学児とその保護者が対象
11月30日（土）	チャレンジ・ザ・スポーツ 会場：交流会館	※小学生を対象に募集をかけたが、申込数が少なく中止とした。
2月23日（日）	親子ふれあい運動会 会場：交流会館	親子10組（延べ21名） ※小学生とその保護者が対象

<成果と課題>

- ・2回目は参加申込みが少なかったため、やむを得ず中止とした。今後はより魅力的な内容を計画できるよう、ニーズや状況を意識した計画を心掛けたい。
- ・親子ふれあい運動会は、9月と3月に異なる参加対象で2回実施した。いずれの回も新潟経営大学の五十嵐先生とゼミの学生3名の協力を得て行い、参加者に楽しく身体を動かす機会を提供できた。
- ・五十嵐先生ら経営大学の指導がメインとなってしまう、本来ねらいとしているスポーツ推進委員の活動PRと認知度アップという部分が弱かったと感じている。あくまでスポーツ推進委員が主体となって行う事業である、ということを念頭に置き、今後は計画したい。



㊼ 第49回田上町スキー教室

少年期～高齢期事業

<事業実績>

- ・開催日 2月8日(土)～9日(日) 一泊二日
- ・会場 ムイカスノーリゾート(宿泊先:サンバレーひぐち)
- ・指導 田上町スキークラブ4名
- ・参加者 小学生9名、中学生3名、一般6名、スポーツ推進委員2名

<成果と課題>

- ・これまで長年会場としていた池の平温泉スキー場(ホテルアルペンブリック)について、宿泊料金の高騰等の理由から別会場での開催を検討することとなり、結果として開催地をムイカスノーリゾートへ変更した。
- ・スキー場が全体的に初心者向けのゲレンデであったことや、宿泊料金が安い点等、会場変更したことで非常に良いと感じる部分があった半面、宿泊所からゲレンデまでの距離や着替え場所、ゲレンデや宿泊所での食事面等で不満を感じている参加者もいた。参加者全員が満足する開催地を定めるのはなかなか難しいかと思うが、可能な限り参加者の声を取り入れて次年度以降の開催に活かしたい。



③⑦ 第65回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会

少年期～高齢期事業

<事業実績>

- ・開催日 10月27日(日)
- ・コース 町内周回コース(一周10.5km)
- ・参加者 6区間の部23チーム
(総合の部14チーム、町内の部7チーム、女子の部2チーム)
3区間の部2チーム

<成果と課題>

- ・重大なトラブルや混乱もなく、大きな盛り上がりの中で大会を終えることができた。
- ・繰上スタートの設定について、時間をもう少し延ばす若しくは「繰上なし」としてほしいとの要望が参加チームからあった。記録集計や大会の運営時間にも関わってするため、次年度以降検討する。
- ・初めての試みとして、以前から要望のあった各中継所への選手送迎バスを運行した。実際に利用した選手からは概ね好評だったため、次年度以降も継続して取り入れたい。
- ・本レース終了後、閉会式までの時間で未就学児と小学生及びその保護者を対象に、「田上町ちびっこマラソン大会」を開催した。昨年度に続いて2回目の開催であったが、78名(幼児34名、小学生44名)の参加があり、前回の参加者数24名(幼児8名、小学生16名)から大幅に数を増やす結果となった。
- ・例年、大会の運営人員確保が課題となっている。今回は新潟経営大学から運営役員の協力を得ることができたが、次年度以降は積極的に運営ボランティアを募るなど、適切な人員数の配置に努めたい。



㊸ その他の事業

事業名	内 容	実施日・会場	参加者等
第 52 回早朝ハイキング(少年期～高齢期事業)	朝の清々しい空気を吸いながら護摩堂山を登り、頂上でラジオ体操を行うなど交流を深めた。納会において皆勤賞、精勤賞を表彰した。	4～10 月の第 3 日曜日 (7 回) 11/3 (日) 納会	<u>延べ 192 名</u> 皆勤賞 12 名 精勤賞 5 名
第 72 回児童生徒書初め展 (少年期事業)	町内小中学生の書初め作品を審査し、優秀作品を表彰した。小中学校や役場ロビー、田上町交流会館に展示し鑑賞の機会を設けた。	1/17(金) 各賞決定	<u>秀作以上</u> 田上小 84 点 羽生田小 88 点 田上中 223 点
囲碁将棋大会 (少年期～高齢期事業)	囲碁及び将棋を通して参加者同士の交流、親睦を深める。	1/19 (日) 田上町交流会館	囲碁 19 名 将棋 34 名 計 53 名
図書の貸し出し	地域学習センターで、図書の貸し出しを行った	通 年	貸出冊数 23,511 冊 貸出人数 5,539 人
定期刊行「生涯学習情報 (公民館だより)」	事業案内、新刊図書の紹介ほか	毎月第 4 金曜日に全戸配布	
交流会館コンサート	交流会館多目的ホールのピアノ等を使ったコンサートを開催した。	令和 5 年 8 月～令和 6 年 2 月まで 3 回実施。	参加者延べ 364 名
ピアノ弾き込みボランティア	多目的ホールグランドピアノを良好な状態に保つため、ボランティアによる弾き込みを行った。	通年	
拉致パネルの展示	人権教育の取り組みとして実施。 北朝鮮に拉致されてしまった横田めぐみさんを始めたとした拉致された方々のパネルを文化祭 (展示の部) 期間中展示。	10 月 11 日 (金)～15 日 (火)	

事業名	内容	実施日・会場	参加者等
交流会館 ストリートピアノ	交流会館にあるアップライトピアノを町民ギャラリーに設置し、町内外の人へ自由に弾く機会を提供した。	①4/19～5/6 ②6/17～7/15 ③8/9～8/18 ④9/13～9/22 ⑤9/30～10/14	
あじさい音楽祭	あじさい祭り期間中、田上町等で活動している音楽家による演奏会を開催した。	7月7日（日）	150名参加
町民ギャラリー	町内外の交流によるにぎわい創出を目的に作品展示等による町民ギャラリーを開放した。	通年	12団体（人） 126日間

2 文化財関係事業

<指定文化財、名木所有者への管理助成>

※指定文化財及び町名木保護条例に基づき指定されている名木の管理や保護を図るため、関係者に対し助成金を交付した。

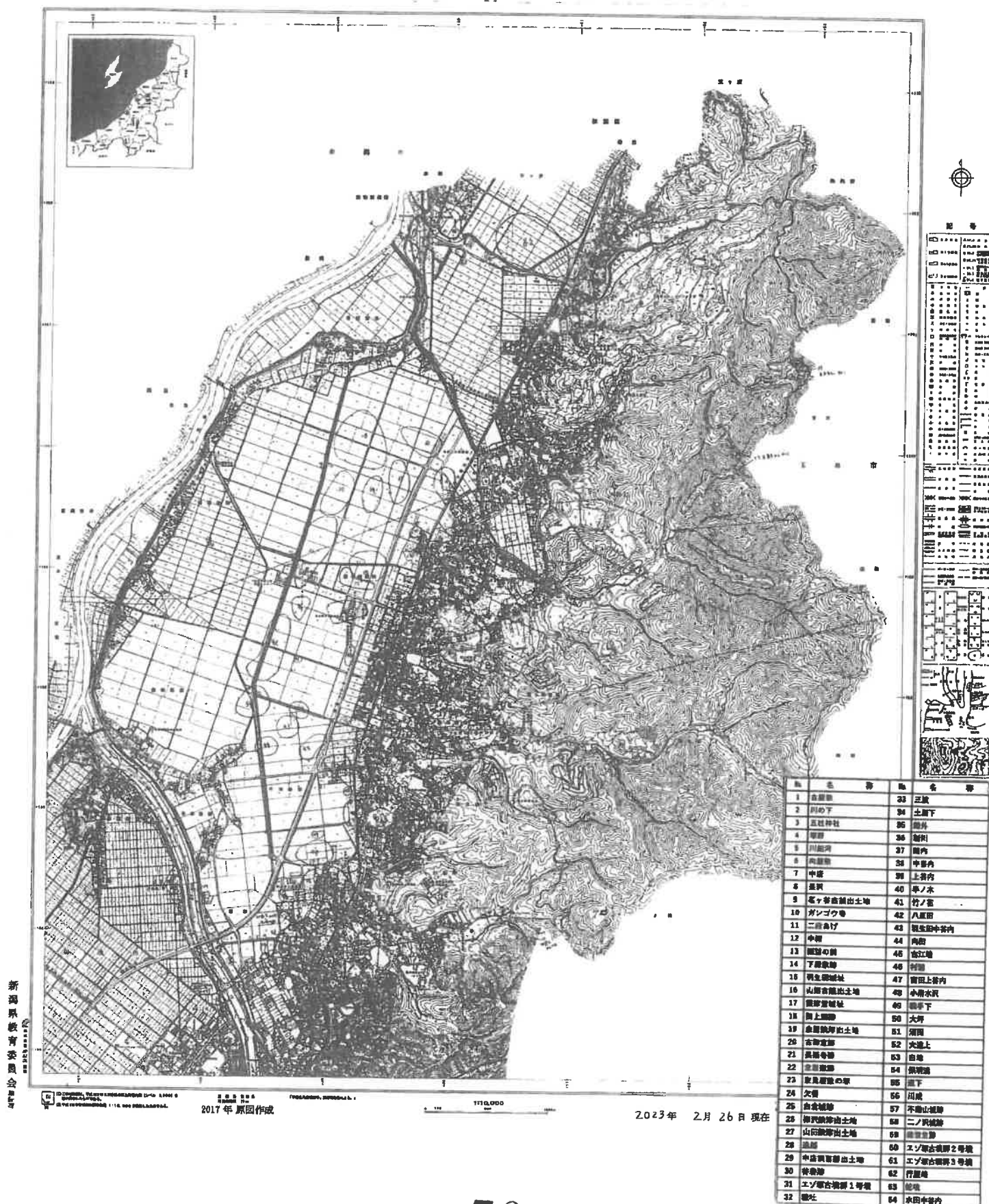
◆田上町の文化財一覧

指定	種 別	名 称	指定年月日	所在地	所有者等
国	天然記念物	田上村ツナギガヤ自生地（護摩堂山）	大 11. 10. 12	田 上	管理者：田上町
	天然記念物	了玄庵のツナギガヤ	大 11. 10. 12	田 上	了玄寺
県	彫 刻	（木造）薬師如来坐像	昭 43. 3. 29	田 上	川之下地区
	考古資料	行屋崎遺跡出土品 77 点	平 29. 3. 21	原ヶ崎 新田	田上町
町	建造物	椿寿荘	昭 62. 11. 17	田 上	田上町
	史 跡	護摩堂城址	昭 62. 11. 17	田 上	田上町
	彫 刻	金銅菩薩形懸仏	平 12. 4. 12	湯 川	安龍寺
	彫 刻	如来形石仏板碑	平 12. 4. 12	田 上	円福院
	歴史資料	吉沢甚右衛門家資料	平 12. 4. 12	田 上	田上町
	無形民俗 文化財	湯川五社神社神楽	平 12. 4. 12	田 上	湯川五社神社 伶人会
	考古資料	道下遺跡出土・石硯	平 12. 4. 12	原ヶ崎 新田	田上町教育 委員会
	史 跡	伝平賀宝山の墓	平 16. 3. 29	田 上	東龍寺

◆名木一覧

名 称	指定年月日	所在地	所有者等
薬師の桜	昭 51. 9. 1	田 上	円 福 院
東龍寺杉	昭 49. 8. 1	田 上	東 龍 寺
霜ふり五葉	昭 49. 8. 25	田 上	山吉 昌介
高野槇	昭 63. 12. 8	下吉田	椿 浩一
かや	昭 49. 8. 25	下吉田	坂内 悦男
越の彼岸桜	昭 51. 9. 1	田 上	川口浩太郎

田上町埋蔵文化財包蔵地位置図（略図）



田上町埋蔵文化財包括地

凡例：縄⇒縄文、弥⇒弥生、平⇒平安、鎌⇒鎌倉、室⇒室町、古代⇒奈良～平安

No.	種 別	名 称	所 在 地	時 代	備 考
1	遺物包括地	古屋敷	田上字古屋敷3919	縄	
2	遺物包括地	川の下	田上字川之下	縄	
3	遺物包括地	五社神社	湯川字五社	縄	
4	遺物包括地	塚野	田上字塚野	縄	
5	遺物包括地	川船河	川船河字離山	縄	
6	遺物包括地	向屋敷	中店字向屋敷	縄	H20所在地変更
7	遺物包括地	中店	中店字追越	弥	H20所在地変更、調査履歴・文献追加
8	遺物包括地	長沢	田上字長沢	古墳	
9	遺物包括地（古銭）	茗ヶ谷古銭出土地	川船河字茗ヶ谷	不明	
10	遺物包括地	ガンゴウ寺	横場新田字大沼	平	
11	遺物包括地	二段あげ	原ヶ崎新田字館外他	平	R 4 範囲変更
12	遺物包括地	中轡	田上字中轡	平	
13	遺物包括地	諏訪の前	田上字横吹	平	
14	遺物包括地	下屋敷跡	田上字古屋敷他	平	
15	城館跡	羽生田城址	羽生田字諏訪平	平	
16	遺物包括地（古銭）	山田古銭出土地	田上字城府ヶ入	鎌	
17	城館跡	護摩堂城址	田上字護摩堂	室	町指定史跡S62. 11. 17
18	城館跡	田上館跡	原ヶ崎新田字館内	室	
19	製鉄跡	金屋鉄滓出土地	川船河字金屋	平・鎌・室	H20種別変更
20	寺院跡	古御堂跡	川船河字茗ヶ谷	不明	H20種別変更
21	寺院跡	長福寺跡	湯川	不明	地点不明
22	寺院跡	堂屋敷跡	田上字川之下	不明	地点不明、H20名称変更
23	塚	空見屋敷の塚	田上字川之下	不明	
24	欠番			不明	
25	城館跡	白倉城跡	川船河字白倉	不明	
26	製鉄跡	樺沢鉄滓出土地	川船河字樺沢	不明	
27	製鉄跡	山田鉄滓出土地	田上字山田	不明	
28	遺物包括地	追越	田上字追越	弥	地点不明
29	遺物包括地	中店	田上字中店	不明	地点不明
30	城館跡	谷砦跡	田上字谷	不明	S55新
31	古墳	エノ塚古墳群1号墳	田上字城府ヶ入	古墳	S55新、H20名称・種別・内容・範囲変更 (旧エノ塚砦跡)
32	遺物包括地	糠吐	田上字糠吐丁584－1他	縄・平・中世	H2新
33	遺物包括地	三波	田上字三波799－1他	縄・平	H2新
34	遺物包括地	土居下	田上字土居下2454他	古墳・平	H2新
35	遺物包括地	館外	原ヶ崎新田字館外866他	平	H2新
36	遺物包括地	新川	田上字新川丁764他	縄・平	H2新
37	遺物包括地	館内	原ヶ崎新田字館内538他	古代	H2新
38	遺物包括地	中谷内	原ヶ崎新田字中谷内389他	古代	H2新
39	遺物包括地	上谷内	原ヶ崎新田字上谷内303他	古代	H2新
40	遺物包括地	半ノ木	吉田新田字半ノ木丙27他	古代	H2新
41	遺物包括地	竹ノ花	吉田新田字竹ノ花丙208他	古代	H2新
42	遺物包括地	八反田	羽生田字八反田丁269他	古代	H2新
43	遺物包括地	羽生田中谷内	羽生田字中谷内丙930他	古代	H2新
44	遺物包括地	向田	千苺新田字向田369他	古代	H2新
45	遺物包括地	古江端	吉田新田字古江端乙335他	古代	H2新
46	遺物包括地	村浦	羽生田字村浦丙822他	古代	H2新
47	遺物包括地	吉田上谷内	吉田新田字上谷内乙123他	古代	H2新
48	遺物包括地	小清水沢	吉田新田字小清水沢乙111他奈～平	古代	H2新
49	遺物包括地	横手下	川船河字横手下252－1他	古代	H2新
50	遺物包括地	大坪	川船河字大坪105他	古代	H2新
51	遺物包括地	沼田	吉田新田字沼田甲229他	古代	H2新
52	遺物包括地	大道上	吉田新田字大道上甲150他	古代	H2新
53	遺物包括地	白地	坂田字白地106－1他	古代	H2新
54	遺物包括地	保明浦	羽生田字保明浦290－2他	縄・弥生・古代・近世	H2新 H25度時代追加
55	遺物包括地	道下	坂田字道下他	縄・古代	H4新 H12. 4. 12町指定考古資料「石硯」
56	遺物包括地	川成	羽生田字中谷内他	古代	H7新
57	城館跡	不動山城跡	田上字不動山他	不明	H8新、H20所在地変更・文献追加
58	城館跡	二ノ沢城跡	田上字二ノ沢他	不明	H8新、H20所在地変更・文献追加
59	寺院跡	鐘撞堂跡	田上字別当山他	不明	H8新、H20所在地変更・文献追加
60	古墳	エノ塚古墳群2号墳	田上字城府ヶ入他	古墳	H20新
61	古墳	エノ塚古墳群3号墳	田上字城府ヶ入他	古墳	H20新
62	遺物包含地	行屋崎	大字田上、湯川地内	古墳・古代	H24新 H29. 3. 21 (県指定考古資料 77点)
63	遺物包含地	蛇喰	田上丙3320ほか	古代	R 1 度、新潟市№800と同じ
64	遺物包含地	水田中谷内	大字田上丙3556ほか	古代	R 1 度、新潟市№799と同じ

＜田上町名木保護事業補助金の支給＞

田上町名木指定第1号「東龍寺杉」の樹勢が弱まり、枯れ枝や腐敗の症状が発生したため、樹木診断・治療、樹勢回復、保全、活用に係る経費を補助対象として補助金（20万円）を支給した。

田上町名木保護事業補助金交付要綱（抜粋）

- | | |
|----------|--|
| （補助対象者） | 田上町名木条例で指定する名木 |
| （補助対象経費） | 名木の樹木保護にかかる、樹木診断、樹木治療、樹勢回復及び保全・活用のために、概ね10年に1度の頻度で必要となる経費とする。
ただし、樹形を著しく変形、伐採し、条例に定める指定の理由が消滅する場合は補助対象外とする。 |
| （補助金の額） | 補助金の額は、補助対象経費の総額に2分の1以内の補助率を乗じた額とし、20万円を限度。 |

3 地区公民館活動補助事業

<目 的>

地区公民館が行うコミュニティ活動及び生涯学習活動を推進するため、その活動に要する経費の一部を補助し、地区の活性化と生涯学習を支援する。

<対象地区>

20 団体（33 地区）※本田上、川船河、下吉田は総区として申請。
子ども会 4 地区含む。

<補助金額>

1,0350,000 円（予算総額）

※補助対象は活動費の 1/2 以内で、上限を 15 万円以内とする。

※うち、備品購入費にあつては、上限を 5 万円とする。

<内 容>

- ・地区広報誌の発行
- ・体育、レクリエーションや文化、教養教室の活動に必要な消耗品や備品購入等

<課 題>

- ・新規に子ども会で 1 団体の活動があったが、町全体の子ども会の活動は低調である。また、昨年度まで活動していた 2 地区の活動が役員の高齢化等の利用で活動がなかった。生涯学習地区推進員等の研修を通し地区役員への情報提供や育成が必要である。

4 社会体育事業

大会等の事業

＜町主催（共催）の大会関係＞

大会等の名称	日 程	会 場	参加者
第 52 回町長杯野球大会 ：青年期～成人後期事業	4/21	羽生田野球場	4 チーム
第 76 回加茂市少年野球大会 (加茂市、田上町)：少年期事業	4/6	加茂市川西野球場	3 チーム
第 44 回全日本学童野球中越大会予選会 (加茂市、田上町)：少年期事業	4/29 5/3	加茂市川西野球場	3 チーム
第 30 回田上町近郷中学校バスケットボール 大会：少年期事業	5/11	田上中学校体育館	男子 8 チーム
第 38 回田上ライオンズ旗争奪少年野球大会 ：少年期事業	6/30	羽生田野球場 田上小グラウンド	学童 6 チーム
第 33 回高野旗争奪野球大会 ：青年期～成人後期事業	7～9 月	羽生田野球場	5 チーム
第 41 回田上町民ゴルフ大会 ：青年期～成人後期事業	7/7	湯田上カントリー クラブ	126 名
第 33 回田上町ソフトボール大会 ：少年期～成人後期事業	9/8	羽生田野球場	6 チーム
第 40 回田上町硬式テニス大会 ：少年期～成人後期	10/13	コミュニティセンターテニスコート	男子 4 組 混合 10 組
第 27 回ジュニアバドミントン大会 ：少年期事業	10/20	羽生田小学校体育館	15 名
第 32 回田上町近郷中学校親善招待野球大会 ：少年期事業	10/20	羽生田野球場 田上中グラウンド	4 チーム
第 47 回田上町少年野球大会 ：少年期事業	11/9	田上小グラウンド 羽生田野球場	6 チーム
第 65 回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会 ：少年期～高齢期事業	10/27	役場前発着点	25 チーム
第 40 回加茂市学童野球新人戦 (加茂市、田上町)：少年期事業	9/28 9/29	加茂市七谷野球場	4 チーム
第 46 回田上町バドミントン大会 ：青年期～高齢期事業	1/19	田上中学校体育館	54 チーム

＜スポーツ教室＞

教 室 名	日 程	会 場	参加者
硬式テニス教室：少年期～高齢期事業	4/7～ 11/24	コミセンテニスコ ート	延べ 260 名
スキー教室：少年期～高齢期事業	2/8～ 2/9	ムイカスノーリゾ ート	小中学生 12 人 一般 6 人

資 料

- 1 令和 7 年度教育関係予算の概要
- 2 田上町文化協会役員名簿および会員数
- 3 田上町生涯学習推進本部設置要綱
- 4 田上町生涯学習推進会議設置要綱
- 5 田上町生涯学習推進員設置要綱・名簿
- 6 田上町地区公民館活動事業費補助金交付要綱ほか
- 7 令和 7 年度田上町社会教育関係委員等名簿
- 8 令和 7 年度田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

1 令和7年度教育関係予算の概要

令和7年4月1日現在

○田上町の人口 10,510人（昨年10,716人）
○〃世帯 4,224世帯（昨年4,221世帯）

※単位表示がない金額は、千円単位

予 算 額		令和7年度	令和6年度	比 較
A 一般会計		5,151,000	4,818,000	333,000
B 教育費		526,187	465,295	60,892
(うち、社会教育・保健体育関係経費)				
社会教育費	社会教育総務費	40,257	40,789	△532
	公民館費	27,088	25,520	1,568
	文化活動費	443	384	59
	コミュニケーション事業費	6,172	10,336	△4,164
	地域学習センター費	18,676	18,432	244
	C 小計	92,636	95,461	△2,825
保健体育費	保健体育総務費	3,003	2,844	159
	総合体育大会費	2,500	2,461	39
	体育施設費	9,024	9,305	△281
	C 小計	14,527	14,610	△83
E 合計		107,163	110,071	△2,908
一般会計予算に対する 教育費の割合 (B/A)		10.22%	9.66%	0.56%
教育費に対する社会教育・ 保健体育費の割合 (E/B)		20.37%	23.66%	△3.29%
1人あたりの一般会計 予算額 (A/人口)		490,010 円	449,608 円	40,402
1人あたりの教育費 (B/人口)		50,065 円	43,421 円	6,644 円
1人あたりの社会教育・ 保健体育費 (E/人口)		10,196 円	10,272 円	76 円

2 田上町文化協会役員名簿及び会員数（36 団体 335 名）

【役員名簿】

（令和 7 年 6 月 1 日現在）

職 名	氏 名	所 属
会 長	水野 公吉	水墨画同好会
副会長	池田 茂 伊藤 フミ	田上町陶芸クラブ コーラスたがみ
常任理事	齋藤 チヨ 八巻 綾子 中村 由夫	古流松藤会 田上書道教室 合唱団なないろ
監 事	古田 葉子 渡辺 悦子	書道・土筆会 あるもにあ
事務局		田上町公民館

【加盟団体】

部門	団体名	会員数	部門	団体名	会員数
美術	絵画教室	8 名	音楽	あるもにあ	25 名
〃	書道・土筆会	9 名	〃	ブレスト	2 名
〃	‘不二’書道会	3 名	〃	田上楽々会	4 名
〃	水墨画同好会	1 名	〃	アンサンブル eau	3 名
〃	田上町陶芸クラブ	10 名	〃	大正琴あじさい会	3 名
〃	田上書道教室	14 名	〃	レクダンスあじさい	8 名
〃	心に寄り添うおじぞうさん教室	4 名	〃	MusikBaum の会	7 名
音楽	ルバート P	2 名	〃	田上ウクレレ教室	7 名
〃	音楽指導者の会	5 名	〃	田上ゴスペルクワイヤ	14 名
〃	レクダンスひまわりの会	22 名	〃	コーラスふた葉	14 名
〃	田上町唱歌・童謡の会	44 名	〃	リコトピア	1 名
〃	田上甚句太鼓保存会	14 名	〃	川船河おどろて	13 名
〃	コーラスたがみ	10 名	文芸	田上俳句会	1 名
〃	合唱団なないろ	32 名	生活	田上 3 B 体操	9 名

【加盟団体】

部門	団体名	会員数
生活	草月流	2名
〃	ファイナル	13名
〃	古流松藤会	2名
〃	ヨガサークル	9名
〃	すまいる	8名
〃	田上いけ花協会小原流	1名
〃	リメイク	7名
〃	3B体操教室健康づくり教室	4名

3 田上町生涯学習推進本部設置要綱

昭和 63 年 12 月 31 日教委要綱第 1 号

(目 的)

第 1 条 この要綱は、田上町における生涯学習の総合的な推進を図るため、田上町生涯学習推進本部（以下「本部」という。）の設置について必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第 2 条 本部は次に掲げる事項を協議する。

- (1) 生涯学習の推進目標に関すること。
- (2) 生涯学習の推進計画に関すること。
- (3) 生涯学習に対する調査、研究に関すること。
- (4) その他生涯学習の推進上必要と認められる事項に関すること。

(組 織)

第 3 条 本部は、本部長、副本部長及び部員をもって組織する。

- 2 本部長は、町長をもって充てる。
- 3 副本部長は、副町長及び教育長とする。
- 4 部員は、総務課長、産業振興課長、町民課長、保健福祉課長、教育委員会事務局長及び公民館長とする。
- 5 前項の部員に事故あるときは、代理者を部員に充てることができる。

(幹 事)

第 4 条 本部に幹事を置く。

- 2 幹事は、部員をもって充てる。
- 3 幹事は、会議の事前審議及び連絡調整に当たる。

(会 議)

第 5 条 会議は本部長が招集する。

(事務局)

第 6 条 本部の事務局は、田上町教育委員会に置く。

(補 則)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

附 則

この要綱は、昭和 63 年 12 月 21 日から施行する。

附 則（平成 2 年 3 月 29 日教委要綱第 1 号）

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（平成 8 年 2 月 20 日教委要綱第 1 号）

この要綱は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 13 年 2 月 23 日教委要綱第 1 号）

この要綱は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

4 田上町生涯学習推進会議設置要綱

平成 13 年 2 月 23 日教委要綱第 2 号

(目 的)

第 1 条 町民の生涯にわたる学習要求に応え、社会の様々な教育機能を生涯学習の観点から総合的に整備・充実する方策等について研究・協議することを目的として、田上町生涯学習推進会議（以下、「推進会議」という。）を設置する。

(研究・協議事項)

第 2 条 推進会議は、次に掲げる事項について研究を行う。

- (1) 生涯学習関連の現状と問題点に関する事。
- (2) 生涯学習関係機関・団体等の関係のあり方に関する事。
- (3) 生涯各期の学習課題と学習計画に関する事。
- (4) 生涯学習情報の提供、学習相談のあり方に関する事。
- (5) 生涯学習推進体制の整備に関する事。
- (6) その他、生涯学習の推進上必要と認められる事項。

(組 織)

第 3 条 推進会議は、委員 25 名以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げるもののうちから推進本部長（町長）が委嘱する。

- (1) 各種団体・機関を代表するもの
- (2) 学識経験者
- (3) 前号に掲げる者のほか、推進本部長が適当と認める者

(任 期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱を受けてから 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長及び副議長)

第 5 条 推進会議には議長 1 名、副議長 1 名を置く。

- 2 議長及び副議長は委員の互選による。
- 3 議長は、推進会議を代表し、議事その他の会務を掌理する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、または欠けたときはその職務を代理する。

(会 議)

第 6 条 推進会議は、必要の都度、議長が招集する。

(専門委員会)

第7条 推進会議は、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会は、推進会議員のうちから若干名をもって組織する。

3 専門委員会は、座長1名を置く。

4 専門委員会は、必要の都度、座長が招集する。

(庶務)

第8条 推進会議の庶務は、田上町教育委員会において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営について必要な事項は、議長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

5 田上町生涯学習推進員設置要綱・名簿

田上町生涯学習推進員設置要綱

平成 13 年 2 月 23 日教委要綱第 4 号

(趣 旨)

第 1 条 この要綱は、田上町における生涯学習の総合的な推進を図るため、田上町生涯学習推進員（以下、「推進員」という。）の設置について、必要な事項を定めることを目的とする。

(委 嘱)

第 2 条 推進員は、生涯学習についての理解があり、社会的信望が厚く、奉仕活動への意欲と実行力のある住民の中から、区長が地域住民の意見を聴き、地区（行政区）から 1 名を推薦し、田上町教育委員会（以下、「教育委員会」という。）が委嘱する。

(役 割)

第 3 条 推進員は、自治会及びその他の地域団体・機関並びに教育委員会等と協力しながら、主として当該地域内において、公民館等集会施設を拠点に、生涯学習に関わる次の活動を行う。

- (1) 各種の学習及び諸活動への意欲を高め、新たな機会を組織し、その活動を援助すること。
- (2) 既に行われている活動を推進・奨励すること。
- (3) 団体及びグループ・サークル等の活動を推進・奨励すること。
- (4) 指導者となり得る人材を発掘し活用すること。
- (5) その他、目的達成のため必要な事業に協力すること。

(運 営)

第 4 条 教育委員会は、推進員の活動を助長させるため推進員に対し次の事項について配慮する。

- (1) 生涯学習に関する情報を提供すること。
- (2) 推進員相互の交流、連携の機会を設けること。
- (3) 生涯学習に関する意見を求めること。
- (4) その他、活動に必要な条件を整えること。

(任 期)

第 5 条 推進員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。補欠推進員の任期は、

前任者の残任期間とする。

(庶 務)

第6条 推進員に関する庶務は、生涯学習推進本部（教育委員会）が所掌する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

令和7年度 生涯学習地区推進員名簿

(任期：令和7年7月1日～令和9年3月31日)

(敬称略)

行政区	氏 名	行政区	氏 名	行政区	氏 名
本田上1	—	下 横 場	高橋 正史	川船河北	熊倉 進
本田上2	—	上 横 場	中澤みゆき	清水沢1	—
本田上3	—	川 前	諸橋 幸栄	清水沢2	—
本田上4	—	保 明 嶋	—	羽生田1	野瀬 敏
川 之 下	—	下 中 村	—	羽生田2	渡邊美代子
上 野	中澤 修	上 中 村	相田 秀男	羽生田3	坪谷 堅
山 田	板谷 美代子	四 ッ 合	松原 直人	羽生田4	森井 優子
中 店 1	江川 浩之	千 苺	—	青 海	小柳 三夫
中 店 2	小柳 英子	石 田	—	下吉田1	金子しのぶ
中 店 3	小松 真弥	坂 田	船久保 栄彦	下吉田2	齋藤 けい子
中 店 4	西潟久美子	上 吉 田	塩野 八子	下吉田3	中野 さなえ
中 店 嶋	金子 貴弘	川船河東1	関根 勲	下吉田4	真保 千香子
湯 川	阿部 聆子	川船河東2	会田 一	原 ヱ 崎	鈴木 亜矢子
後 藤	—	川船河西	小柳 良作		
曾 根	坂井 昭兵	川船河南	坪谷 貴行		

6 田上町地区公民館活動事業費補助金交付要綱ほか

田上町地区公民館活動事業費補助金交付要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、地区公民館で行うコミュニティ活動及び生涯学習活動を支援するため、その事業に対し補助金を交付し、地区の活性化と生涯学習の推進を図ることを目的とする。

(補助対象事業)

第2条 補助金交付の対象となる事業は次のとおりとする。

- (1) 社会教育法第22条（公民館の事業）に定める事業であること。
- (2) 地区公民館が主催する事業であること。
- (3) 地区のコミュニティ活動及び生涯学習を推進する備品（設備）の購入であること。
- (4) 地区住民を対象とする事業であること。
- (5) 地区の子ども会が自ら考え、企画する事業であること。
- (6) 営利を目的としない事業であること。
- (7) その他、町長が必要と認めた事業であること。

(補助額及び率)

第3条 前条の補助対象事業費は、毎年度予算の範囲内において補助するものとし、補助率、補助金の金額については別表のとおりとする。

(申請手続)

第4条 補助金の交付を受けようとする地区（以下、「申請者」という。）は、指定した期日までに次の書類を田上町公民館（以下「町公民館」という。）に提出しなければならない。

- (1) 補助金交付申請書
- (2) 添付書類
 - ア 事業計画書
 - イ 収支予算書

(事業の変更及び中止)

第5条 申請者は、補助事業の内容を変更し、又は中止しようとするときは、あらかじめ町公民館に報告し、承認を受けなければならない。

(実績報告書等)

第6条 申請者は、補助事業が完了したときは、速やかに次の書類を町公民館に提出し、

町公民館より要請があった場合には、実施した事業について発表を行わなければならない。

(1) 実績報告書

(2) 添付書類

ア 事業実績報告書

イ 収支決算書（受領書写し含む）

ウ 事業内容が確認できる写真

（補助金の交付）

第7条 補助金は補助事業の完了後（実績報告書提出後）必要に応じて検査のうえ交付する。ただし、地区から補助金の概算払申請があった場合は、事業完了前であっても概算払いをすることができる。

（取消及び返還命令）

第8条 町公民館は、補助金の交付を受けた者の提出書類に虚偽又は、不正の記載があったときは、補助金の取消、又はすでに交付した補助金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、公布の日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

別 表（第2条関係）

	補 助 率	限 度 額
第2条(1)～(4)、(6)～(7)に該当するもの	予算の範囲内で補助対象額の1/2	1地区15万円
第2条(5)に該当するもの	予算の範囲内で100%	地区の小・中学生の子ども ×500円+10,000円（事務費） ※上限25,000円

田上町地区公民館活動事業費補助金交付要綱の留意事項

1 事業の目的

地域の自主的な創意を生かした社会教育活動を通じ、連帯感を高め、明るい地域づくりを目指すことを目的とする。

2 主な活動

地区住民の総意に基づく活動であること。

- (1) 青少年学級、討論会、講習会、実習会、展示会等の開催
- (2) 図書、記録等の整備とそれを活用した活動
- (3) 体育、レクリエーション活動
- (4) 地域のボランティア活動 等

(上記活動であっても、営利を目的としたものは除く。)

3 補助対象経費

- (1) 講師謝金…標準的な単価(下の表による。1回2時間程度。)

区 分	町 内	町外 15km 以内	左記以外
一般講師	6,000 円	7,000 円	8,000 円
大学教授・医師	12,000 円	13,000 円	15,000 円

- (2) 需用費…消耗品、印刷製本費等(食糧費、実習材料費は除く)
- (3) 備品購入費…留意事項2に掲げる事業活動で使用し、今後も使用するもの。
ただし、備品の補助対象経費は10万円を上限とする。
- (4) 借上料、手数料…活動に必要な備品等の借上料及び手数料
- (5) その他活動に必要な経費は田上町公民館との協議による。

4 補助対象外とする経費

- (1) 地区公民館等、地区で管理している施設の維持管理費(光熱水費、修繕費、備品購入費等)
- (2) 事業のすべてにかかる食糧費、実習材料費
- (3) 当事業で購入した備品を更新するための備品購入費及び修繕費
- (4) 町民運動会に要する経費(別に助成金を交付する。)
- (5) 体育、レクリエーション活動での景品類の経費
- (6) 会議等の経費及び会場借上料
- (7) 地区の団体等に対する補助金、助成金(例えば老人会、食推、PTA等に一律に支払っている金額は対象経費としない。)
- (8) その他当事業の趣旨にそぐわない事業の経費

5 証拠書類等の保管

事業完了後、見積書、請求書、領収書、事業実施による成果品等の証拠類、備品等は、5年間保管しなければならない。

6 その他

- (1) 補助金実績額が申請額を下回らないように、事業計画を慎重に立案し実施すること。
- (2) 受領書は写しで構わないが、備品だけでなく補助対象経費に係るすべての分を用意すること。なお、受領書の確認は田上町公民館で行います。
- (3) 受領書で内訳や但し書きが「文具代」「店飾り」「景品代」「お品代」では何の経費か不明なため、具体的に中身がわかるようにすること。店の都合等で出せない場合は、納品書も添付するか、申請者が補記すること。

7 令和7年度 田上町社会教育関係委員等名簿 (令和7年6月1日現在)

(敬称略)

<教育委員(定数4名)>

教育長職務代理者	石田 一平
委 員	山田 正夫
	齋藤 美里
	渡邊 悦子

<社会教育委員(定数10名以内)>任期: ~令和9年3月31日

委 員	高井 直樹	高野 陽子	吾妻 利行	川口比左子	細井久美子
	佐藤 美希	涌井 和夫	鶴巻 亮	佐藤 智昭	豊田 誠

<文化財調査審議会委員(定員5名以内)>任期: ~令和9年3月31日

委員長	中山 之隆				
委員長職務代理	太刀川静夫				
委 員	細井 廣行	松岡 誠一	藤田 哲也		

<スポーツ推進委員(定員15名以内)> 任期: ~令和9年3月31日

委員長	鈴木 伸司				
副委員長	江部 由香				
委 員	渡邊 宏行	熊倉 達也	宗村 洸希	今井 奈奈	
	齋藤 孝夫	泉 香織	善養寺 聖子	小柳 良作	

<青少年問題協議会委員> 任期: ~令和9年3月31日

会 長	佐野 恒雄（町長）	
副会長	鈴木 和弘（副町長）	
委 員	藤田 直一（町議会議長）	渡邊 高弘（加茂警察署生活安全課長）
	野澤 幸司（商工会長）	古川今日子（民生児童委員）
	善養寺 貴洋（保護司代表）	小野 浩（田上中学校長）
	佐藤 智昭（田上小学校長）	浅野 哲司（羽生田小学校長）
	渡辺 勇祐（田上小学校 PTA 会長）	金子慎太郎（羽生田小学校 PTA 会長）
	豊田 誠（田上中学校 PTA 会長）	涌井 和夫（区長会長）
	小林 繁明（田上町スポーツ協会長）	首藤 和明（教育長）
	時田 雅之（保健福祉課長）	

<社会教育関係事務局職員>

教育長	首藤 和明
教育委員会事務局長	諸橋 弘樹
局長補佐	渡辺真夜子
公民館長兼交流会館長	福井 明
生涯学習係長	相田 岳人
主査	牛田 伸幸
社会教育指導員	佐藤みどり
会計年度任用職員	田畑 弘
会計年度任用職員	原 彩香
会計年度任用職員	古川 今日子
会計年度任用職員	高野 あかね
会計年度任用職員	田邊 彩
会計年度任用職員	松岡 由羽子

<社会教育施設管理人>

施設名	電話番号	住 所	管理人
交流会館	47-1201	原ヶ崎新田 3072-1	中村博和、佐藤春芳
コミュニティセンター	57-5355	田上丙 1274-2	須佐亨、高橋和子
町民体育館（閉館中）	57-3390	原ヶ崎新田 2700	
羽生田野球場	57-4907	羽生田乙 912-1	環境をサポートする働きらめき
民俗資料館		田上丁 2392-1	
保明交流センター	57-3863	保明新田 806-5	
地域学習センター	57-4378	吉田新田丁 242-2	江部瑞穂

8 令和7年度田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

4月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	おはなし会（地域学習センター）	
6	日		硬式テニス教室（11/30 まで）
7	月	ストレッチ教室（交流会館）	
8	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		第 53 回町長杯野球大会（羽生田野球場）
14	月		
15	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
16	水		
17	木		
18	金		
19	土	ゆうゆう教室（交流会館）	
20	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂）	
21	月	ストレッチ教室（交流会館）	
22	火		
23	水		
24	木		
25	金	生涯学習情報 5 月号発行日	
26	土	交流会館ストリートピアノ（5 月 6 日まで） ゆうゆう教室（地域学習センター）	
27	日		
28	月		
29	火		第 31 回田上町近郷中学校バスケットボール大会（田上中学校） 第 77 回加茂市少年野球大会（加茂市七谷野球場）
30	水		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

5月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	木		
2	金		
3	土	おはなし会（地域学習センター）	第45回全日本学童野球中越大会予選会 （加茂市七谷野球場）
4	日		第45回全日本学童野球中越大会予選会 （加茂市七谷野球場）
5	月	たがみこどもまつり兼ゆうゆう教室 （交流会館）	
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	ストレッチ教室（交流会館）	
13	火	KIDS遊び場（交流会館）	
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂）	
19	月		
20	火	KIDS遊び場（交流会館）	
21	水		
22	木		
23	金	生涯学習情報6月号発行日	
24	土		
25	日		
26	月	ストレッチ教室（交流会館）	
27	火	KIDS遊び場（交流会館）	
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

6月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	日		
2	月	ストレッチ教室（交流会館）	
3	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
4	水		
5	木		
6	金		
7	土	おはなし会（地域学習センター） 交流会館ストリートピアノ（6/22 まで）	
8	日		
9	月		
10	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
11	水		
12	木		
13	金		
14	土	ふるさと歴史講座（交流会館）	
15	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂）	
16	月	ストレッチ教室（交流会館）	
17	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		たがみモリモリ運動大学（交流会館）
23	月	家庭教育セミナー（交流会館）	
24	火		
25	水	KIDS 遊び場（交流会館）	
26	木		
27	金	生涯学習情報7月号発行日	
28	土	ゆうゆう教室兼家庭教育セミナー（保健福祉センター） あじさい語り（地域学習センター）	
29	日	生涯学習ボランティア養成講座（交流会館）	第39回田上ライオンズ旗争奪少年野球大会（羽生田野球場、田上小学校）
30	月		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

7月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
2	水		
3	木		
4	金		
5	土	おはなし会「あじさい語り」 （地域学習センター）	
6	日		
7	月	ストレッチ教室（交流会館）	
8	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
9	水		
10	木		
11	金		
12	土	田上町史を読む会（地域学習センター）	
13	日		
14	月	ストレッチ教室（交流会館）	
15	火		
16	水	KIDS 遊び場（交流会館）	
17	木		
18	金		
19	土		
20	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂）	
21	月		
22	火	KIDS 遊び場（交流会館）	
23	水	交流会館ストリートピアノ（8/17 まで）	
24	木		
25	金	生涯学習情報 8 月号発行日 夏休み読書ビンゴ（8/24 まで）	
26	土		
27	日		
28	月	子ども夏休み教室（交流会館）	
29	火	大人のゼミナール（交流会館）	
30	水	子ども夏休み教室（交流会館）	
31	木		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

8月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	金		
2	土	おはなし会（地域学習センター） 大人のゼミナール（交流会館）	
3	日	歴史特別講座（交流会館）	
4	月	夏休み妙高青少年研修（国立妙高青少年 自然の家）	
5	火	夏休み妙高青少年研修（国立妙高青少年 自然の家）	
6	水		
7	木	子ども夏休み教室（地域学習センター）	
8	金	交流会館ストリートピアノ（8/17 まで）	
9	土	こわ〜いおはなし会（地域学習センター）	
10	日	交流会館コンサート（交流会館）	
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂） 子ども夏休み教室（羽生田川）	
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金	生涯学習情報 9 号発行日	
23	土		
24	日		
25	月	ストレッチ教室（交流会館）	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

9月

	社会教育（公民館）	社会体育
1 月	ストレッチ教室（交流会館）	
2 火		
3 水		
4 木		
5 金		
6 土	おはなし会（地域学習センター）	
7 日		
8 月	ストレッチ教室（交流会館）	
9 火		
10 水		
11 木		
12 金	交流会館ストリートピアノ（9/23 まで）	
13 土		
14 日		
15 月		
16 火		
17 水		
18 木		
19 金		
20 土	ゆうゆう教室（交流会館）	第 41 回加茂市学童野球新人戦 （加茂市七谷野球場） たがみモリモリ運動大学（交流会館）
21 日	早朝ハイキング（護摩堂山頂）	
22 月		
23 火		
24 水	大人のゼミナール（交流会館）	
25 木		
26 金	生涯学習情報 10 月号発行日 家庭教育セミナー（地域学習センター）	
27 土		
28 日		第 34 回田上町ソフトボール大会（羽生田 野球場）
29 月	交流会館ストリートピアノ（10/5 まで） 大人のゼミナール（交流会館）	
30 火		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

10月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	水		
2	木		
3	金	蔵書点検（10/10まで）	
4	土	おはなし会（地域学習センター）	町内スポーツ指導者講習会（交流会館）
5	日		
6	月	ストレッチ教室（交流会館）	
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	文化祭・展示の部（交流会館）10/14まで	
11	土	文化祭・お茶会（交流会館）10/11のみ 田上町史を読む会（地域学習センター）	
12	日		第41回田上町硬式テニス大会（コミュニティセンターテニスコート）
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日	早朝ハイキング（護摩堂山山頂）	第28回ジュニアバドミントン大会（田上中学校） 第48回田上町少年野球大会（羽生田野球場、田上小学校）
20	月	ストレッチ教室（交流会館）	
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	生涯学習情報11月号発行日	
25	土	ブックツリーをつくろう（11/9まで）	
26	日		第33回田上町近郷中学校親善招待野球大会（羽生田野球場、田上中学校） 第66回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

11月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	土	おはなし会（地域学習センター） 早朝ハイキング（交流会館）	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水	ストリートピアノ 11/13 まで	ちょいトレ①（交流会館）
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	ストレッチ教室（交流会館）	
11	火		
12	水		ちょいトレ②（交流会館）
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	文化祭・芸能の部（交流会館）	
17	月	ストレッチ教室（交流会館）	
18	火		
19	水		ちょいトレ③（交流会館）
20	木		
21	金		
22	土		
23	日	マナー講座①（交流会館）	
24	月		
25	火		
26	水		ちょいトレ④（交流会館）
27	木		
28	金	生涯学習情報 12月号発行日	
29	土	ゆうゆう教室（交流会館）	
30	日		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

12月

	社会教育（公民館）	社会体育
1 月	ストレッチ教室（交流会館）	
2 火		
3 水		
4 木		
5 金		
6 土	おはなし会（地域学習センター）	
7 日	終活講座①（交流会館）	
8 月		
9 火		
10 水		
11 木		
12 金		
13 土	クリスマスおはなし会（地域学習センター）	
14 日		
15 月	ストレッチ教室（交流会館）	
16 火		
17 水		
18 木		
19 金		
20 土	ゆうゆう教室（交流会館）	
21 日	終活講座②（交流会館）	
22 月		
23 火		
24 水		
25 木		
26 金	生涯学習情報1月号発行日	
27 土	交流会館コンサート	
28 日		
29 月		
30 火		
31 水		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

1月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	木		
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	ストレッチ教室（交流会館）	
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土	おはなし会（地域学習センター） 田上町史を読む会（地域学習センター）	
11	日		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日	囲碁将棋大会（交流会館）	第47回田上町バドミントン大会 （田上中学校）
19	月	ストレッチ教室（交流会館）	
20	火		
21	水		
22	木		
23	金	生涯学習情報2月号発行日	
24	土	ゆうゆう教室（交流会館）	
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

2月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	日	交流会館コンサート（交流会館）	
2	月	ストレッチ教室（交流会館）	
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土	たがみひな巡り 3/20 まで おはなし会（地域学習センター）	
8	日		
9	月	ストレッチ教室（交流会館）	
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日	交流会館コンサート（交流会館）	
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金	生涯学習情報 3月号発行日	
28	土	ふるさと歴史講座（交流会館）	スキー教室 3/1 まで

令和7年度 田上町社会教育（公民館）・社会体育年間予定表

3月

		社会教育（公民館）	社会体育
1	日		スキー教室
2	月		
3	火		
4	水		
5	木	特別読み聞かせ（地域交流センター）	
6	金		
7	土	おはなし会（地域学習センター） 田上町史を読む会（地域学習センター） ゆうゆう教室（保健福祉センター） 春の読書スタンプラリー	
8	日		
9	月	ストレッチ教室（交流会館）	
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土	交流会館コンサート（交流会館）	
15	日		たがみモリモリ運動大学（交流会館）
16	月	ストレッチ教室（交流会館）	
17	火		
18	水		
19	木		
20	金	令和7年度田上町「二十歳のつどい」（交流会館）	
21	土		
22	日	マネー講座②（交流会館）	
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金	生涯学習情報4月号発行日	
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		